

1. 余市町立地適正化計画策定に係るまちづくりアンケート報告書

I. アンケート概要

配付数：4,000件

回答数：1,381件（回収率34.5%）

実施期間：令和4年8月5日～8月22日

対象者：18歳以上の居住者を無作為抽出

II. アンケート設問の趣旨

1. あなたご自身について

(1) 年齢

年齢層を把握する。

(2) 家族構成

単身、夫婦、親子世帯かを把握する。

(3) 居住地域

まちづくりへの関心や満足度が高い地域、低い地域の傾向を掴み、誘導区域設定の参考とする。

(4) 居住年数

定住の傾向を掴み、土地利用の見直しの参考とする。

(5) 居住形態

住まいの傾向を掴み、誘導区域設定の参考とする。

2. 余市町での暮らしについて

問1 食料品や飲料などの買い物に最もよく利用する店舗

問2 家電・家具や衣料品、趣味用品などの買い物に最もよく利用する店舗

問3 最もよく利用する金融機関

問4 最もよく利用するかかりつけの病院や診療所への通院状況

問5 保育園・幼稚園等の利用

問6 通所型の福祉施設の利用

問1から問6においては、各施設の位置や利用状況等を把握することにより、立地適正化計画における誘導区域や誘導施設検討の参考とする。

問7 概ね10年以内において、現在の居住地に住み続けたいか

現在の居住地との関係性を踏まえて、どの地区に住みたいと感じるかを抽出する。また、住み替えたい理由を踏まえて町外への流出を防ぐ施策を検討するほか、居住誘導区域へ誘導するための施策を検討する。

問8 町内の他の地域や町外に住み替えたいと思う理由

住み替えの理由や傾向を把握することにより、現在の居住地からの流出を防ぐための施策検討等の参考とする。

問9 住み替える場合があると良い支援

住み替えの際に求められている支援を把握することで、立地適正化計画における誘導施策等の検討の参考にする。

問10 余市町内の災害危険区域について

問11 災害への備えとして普段どのようなことをしているか

問10・問11においては、災害に関する情報の把握状況と備えへの意識から、立地適正化計画における防災指針の検討に関連付ける。

3. 余市町の今後のまちづくりについて

問1 土地の使い方についての「満足度」、「重要度」

都市マス現計画の施策に対する町民の評価、及び町民のニーズを把握し、重要度は整備の優先度の参考とする。

問2 道路や交通についての「満足度」、「重要度」

現計画の施策において、重要度が高いものを都市マスの重点課題として整理するほか、満足度によって施策の方針変更や継続等の検討を行う。また、交通分野の誘導方針や誘導施策へ反映する。

問3 公園や緑地についての「満足度」、「重要度」

公園の機能を把握して都市マスの施策方針を検討する。立地適正化計画においては、緑化活動を誘導区域内で重点的に行うなど、誘導施策への反映資料とする。

問4 防災や防犯についての「満足度」、「重要度」

現計画における主な施策の評価と重要度を勘案し、施策の継続や方針変更等の検討を行う。また、道路、公園、公共施設などの防災機能において、重要度の高い施策は都市マスの具体的な施策や立地適正化計画の誘導施策に反映する。

問5 暮らしやすいまちになるために最も重要だと思うこと

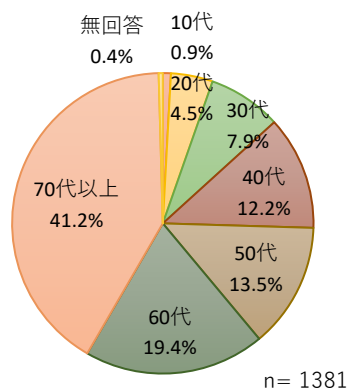
満足度・重要度と合わせて優先・重点的に行う施策の参考とする。

Ⅲ. アンケート調査結果

1. あなたご自身について伺います。

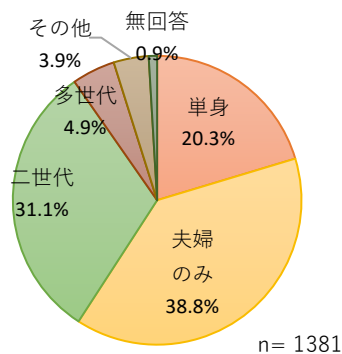
(1) 年 齢

回答者の年齢は、「70代以上」が41.2%で最も多く、続いて「60代」が19.4%、「50代」が13.5%、以下「40代」から「10代」まで、年齢の高い順に回答が多くなりました。



(2) 家族構成

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が38.8%で最も多く、続いて「二世帯」が31.1%、「単身」が20.3%となりました。二世帯を超える「多世代」や「その他」は少数でした。

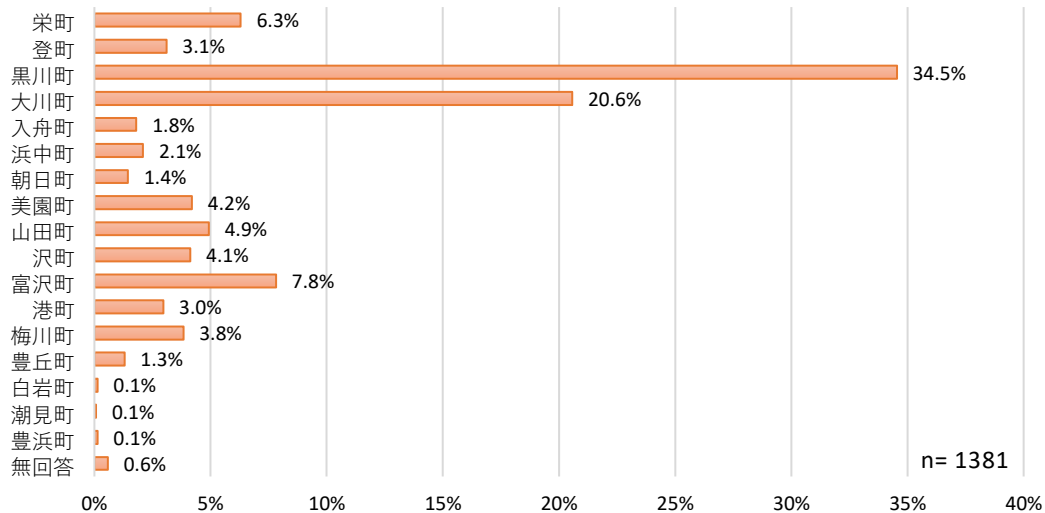


「その他」の記載内容 (34件)

・親、子	・母と子	・母、息子	・兄、妹	・兄弟
・姉妹	・息子と同居	・両親と同居		
・家族と同居	・義姉妹同居	・夫婦と兄妹	・母と二人	・姉と二人暮らし
・娘と二人暮らし	・娘と2人	・親子2人	・夫婦と子2人	
・妹との2人住まい	・夫婦、夫の妹1人と	・3人兄弟の兄、姉、本人		
・父と別居。父は同じ町内に住んでいる		・子有	・子育て世帯	・恋人同士
・2人	・3人	・3人家族(3)		
・4人	・外国人実習生(2)	・Uターン(親と同居)		・協同生活

(3) 居住地域

回答者の居住地域は、「黒川町」が34.5%、「大川町」が20.6%と、両地域で過半数以上を占める割合となりました。



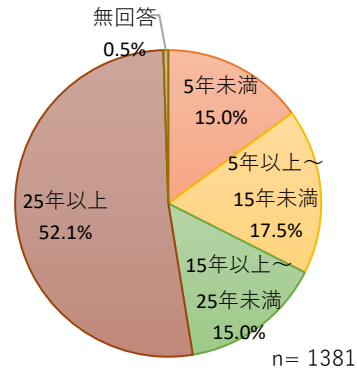
現行都市計画マスタープランにおける地区区分別の集計

東部地区 (栄町・登町・黒川町・大川町)	891
中部地区 (黒川町・大川町・入舟町・浜中町・朝日町・美園町・山田町・沢町・豊丘町)	1,036
西部地区 (浜中町・沢町・富沢町・港町・梅川町・豊丘町)	306
該当なし (白岩町・潮見町・豊浜町)	
総計	2,233

※黒川町、大川町、浜中町、沢町、豊丘町は複数の地区で集計しているため、合計値は全回答者数を上回っている。

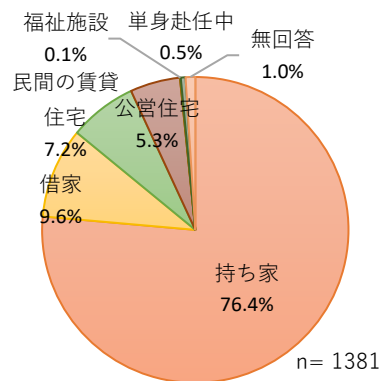
(4) 居住年数

回答者の居住年数は、「25年以上」が52.1%で最も多く、「5年未満」、「5年以上～15年未満」、「15年以上～25年未満」の各回答については、いずれも15%程度となりました。



(5) 居住形態

回答者の住まいの居住形態は、「持ち家」が76.4%と大半を占め、賃貸や借家などで暮らしている人は少数となりました。



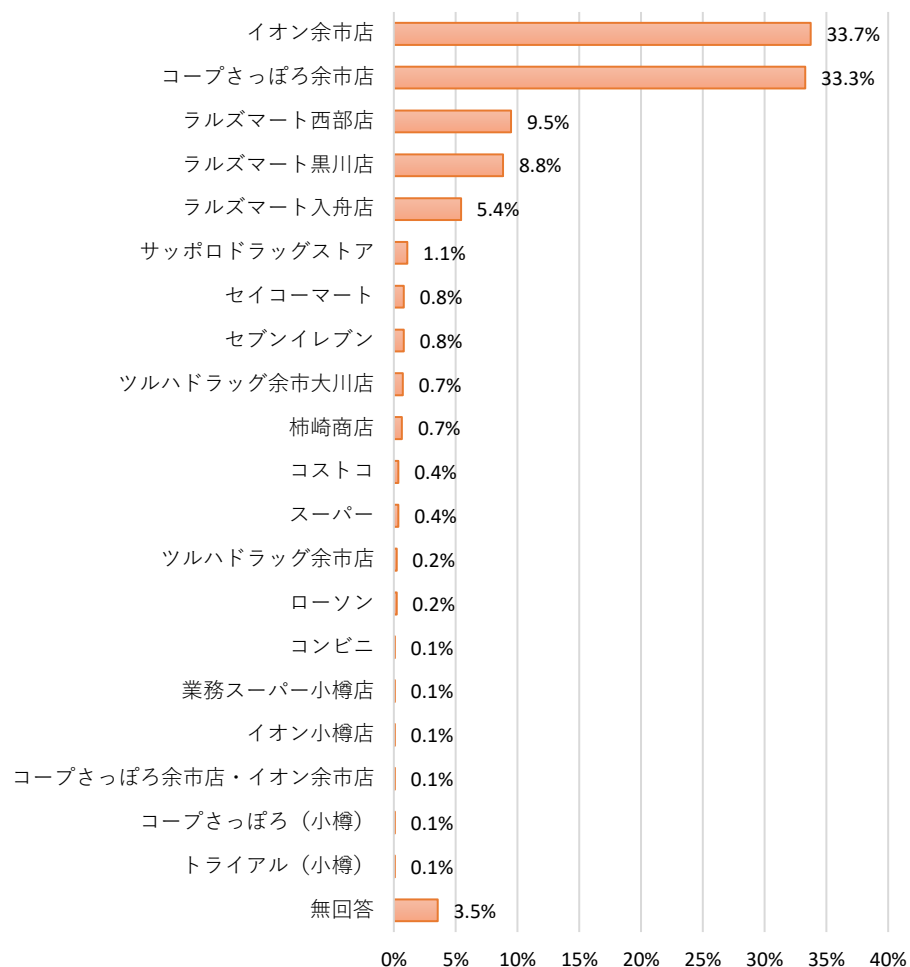
2. 余市町での暮らしについて伺います。

問1 食料品や飲料などの買い物に最もよく利用する店舗を1つお答えください。

1. 店舗名

食料品や飲料などの買い物に最もよく利用する店舗は、「イオン余市店」が33.7%、「コープさっぽろ余市店」が33.3%と、2つの店舗に回答が集中しました。

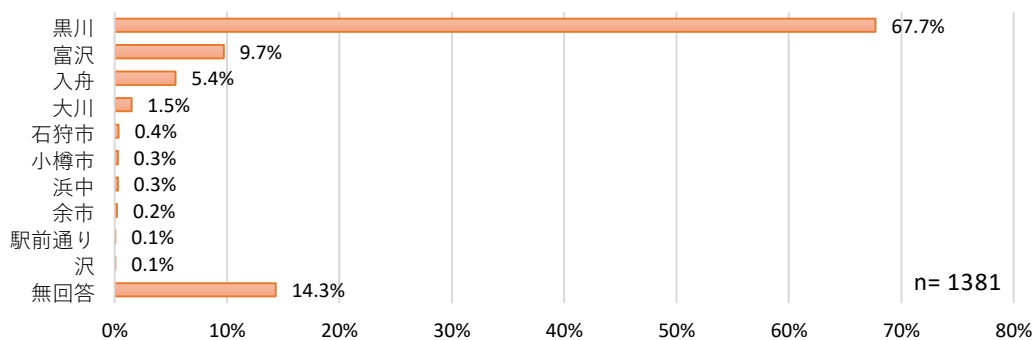
一方、地域に密着したスーパーマーケットやドラッグストア、コンビニエンスストアは比較的少数ですが、最もよく利用する店舗ではないにせよ副次的に利用されて回答者も多いことが考えられます。



2. 場所

買い物する場所は、「黒川」が67.7%と大半の割合を占め、続いて「富沢」が9.7%、「入舟」が5.4%となりました。

その中で、西部地区周辺の居住者は「富沢」と「黒川」を同様に利用していることがわかりました。

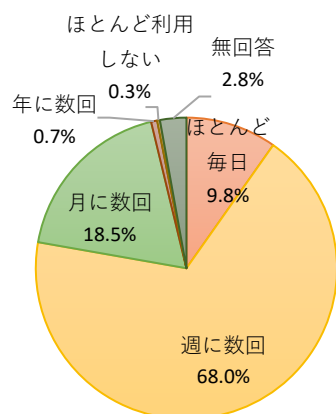


地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	83.1%	74.1%	34.6%	67.7%
富沢	0.4%	3.3%	41.2%	9.7%
入舟	0.0%	6.9%	6.2%	5.4%
大川	2.1%	1.6%	0.7%	1.5%
余市	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%
駅前通り	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
沢	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
石狩市	0.3%	0.3%	0.7%	0.4%
小樽市	0.2%	0.3%	0.0%	0.3%
浜中	0.0%	0.3%	1.3%	0.3%
無回答	13.6%	12.6%	14.4%	13.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 利用頻度

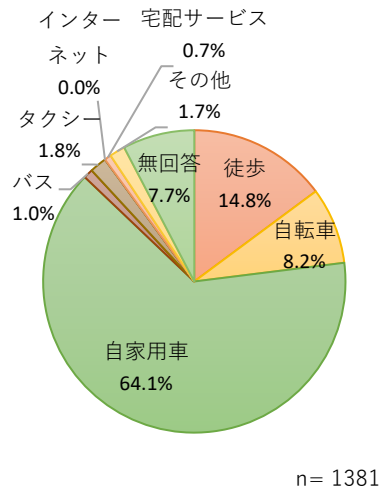
利用頻度は、「週に数回」が68.0%で最も多く、他の種類の店舗や施設と比較すると、最も頻繁に利用されていることが示されました。



n=1381

4. 移動手段等（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「自家用車」が64.1%で最も多く、「徒歩」が14.8%、「自転車」が8.2%となり、バスやタクシーの利用はほとんどありませんでした。

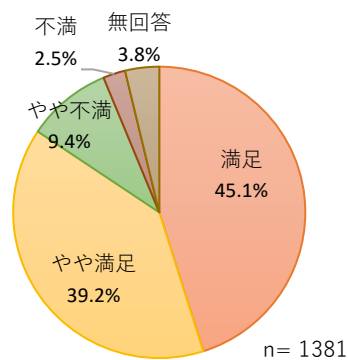


「その他」の記載内容（22件）

記載内容	回答数
夫の自家用車に乗せてもらいます 家族の車 家族の運転	14
妹に車で連れて行ってもらう 妹の車に乗せてもらう 姉が買い物をする	
娘が自家用車で 息子の車 娘の車 子供の車 子供に送り迎えしてもらう	
子供に頼む 次男のお嫁さんがすべて世話してくれるので安心 友達の車	
ヘルパーさんへ依頼 ヘルパーの送迎で 介護 介護タクシー	4
夏は自転車、冬はタクシー 夏は自家用車、冬は親戚の車 片道個人に依頼、帰途タクシー	3
バイク	1
合計	22

5. 店舗に直接行く場合の行きやすさ（1つに○）

行きやすさは、「満足」が45.1%、「やや満足」が39.2%で、「不満」や「やや不満」は少数でした。



問2 家電・家具や衣料品、趣味用品などの買い物に最もよく利用する店舗を1つお答えください。

1. 店舗名

家電・家具や衣料品、趣味用品などの買い物に最もよく利用する店舗は、「イオン余市店」が32.1%、「ケースデンキ余市店」が17.8%、「DCM ホームマック余市店」が15.9%と、3つの店舗に回答が集中しました。

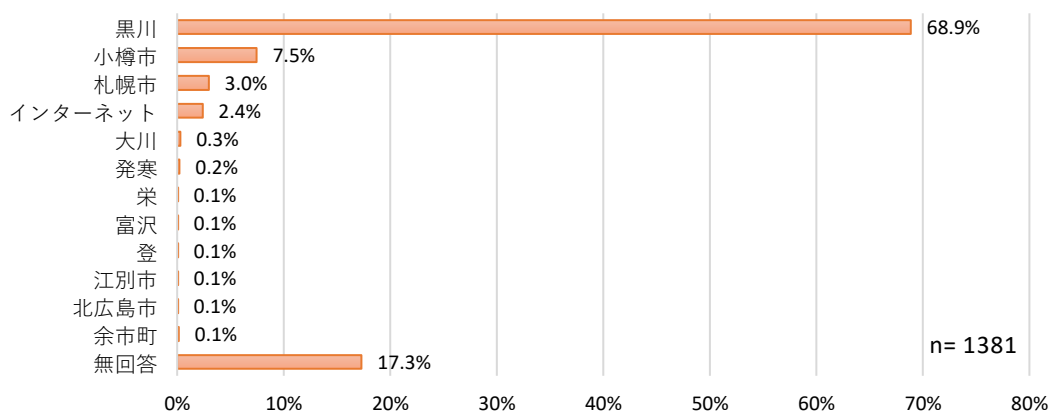
少数意見では、札幌市や小樽市など余市町以外にある店舗が多くみられ、食料品などの購入よりも利用範囲が広域に及ぶことが理解できました。



2. 場所

買い物する場所は、「黒川」が68.9%と大半の割合を占めましたが、「小樽市」が7.5%、「札幌市」が3.0%と、余市町以外の地域もあげられました。

地区別に見ても、同様の傾向であることがわかりました。

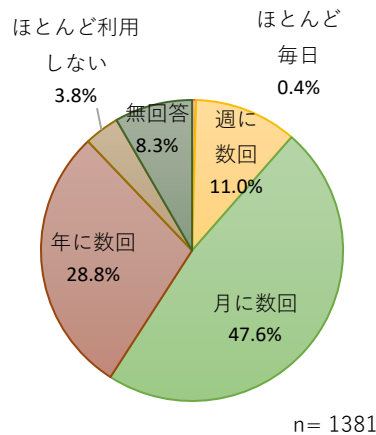


地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	69.2%	69.2%	66.7%	68.9%
小樽市	7.3%	7.1%	8.2%	7.5%
札幌市	3.6%	3.3%	2.3%	3.0%
インターネット	2.2%	2.3%	3.3%	2.4%
発寒	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%
栄	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
大川	0.1%	0.3%	1.0%	0.3%
富沢	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
登	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%
町内	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%
江別市	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
北広島市	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
無回答	16.6%	16.8%	17.8%	17.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

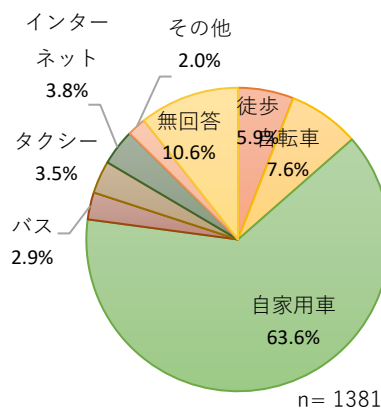
3. 利用頻度

利用頻度は、「月に数回」が 47.6%で最も多く、「年に数回」も 28.8%と多くなりました。「週に数回」や「ほとんど利用しない」は比較的少数、「ほとんど毎日」はごく少数でした。



4. 移動手段等（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「自家用車」が 63.6%で最も多く、「徒歩」が 5.9%、「自転車」が 7.6%となり、バスやタクシーの利用はほとんどありませんでした。

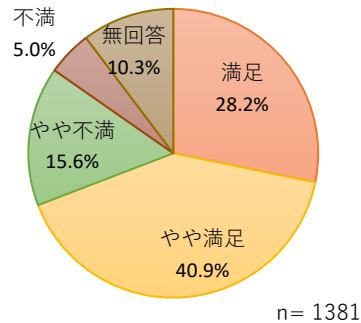


「その他」の記載内容（24件）

記載内容	回答数
JR (3)	3
家族の運転 息子の車 娘の車 (2) 娘が自家用車で 子供が来た時 妹に車で連れて行ってもらう 妹の車に乗せてもらう 親戚の車か自家用車 たまたま来る子供に車で連れて行ってもらう 人の車 友人の車	12
子供に札幌の大型店から買ってきてもらう	1
ヘルパーさんへ依頼 ヘルパーの送迎、父の車	2
トドック	1
送ってもらったり、歯医者へ行ったついでに入る	1
夏は自転車、冬はタクシー 片道個人に依頼、帰途タクシー 徒歩とタクシーを両方利用	3
町外	1
合計	24

5. 店舗に直接行く場合の行きやすさ（1つに○）

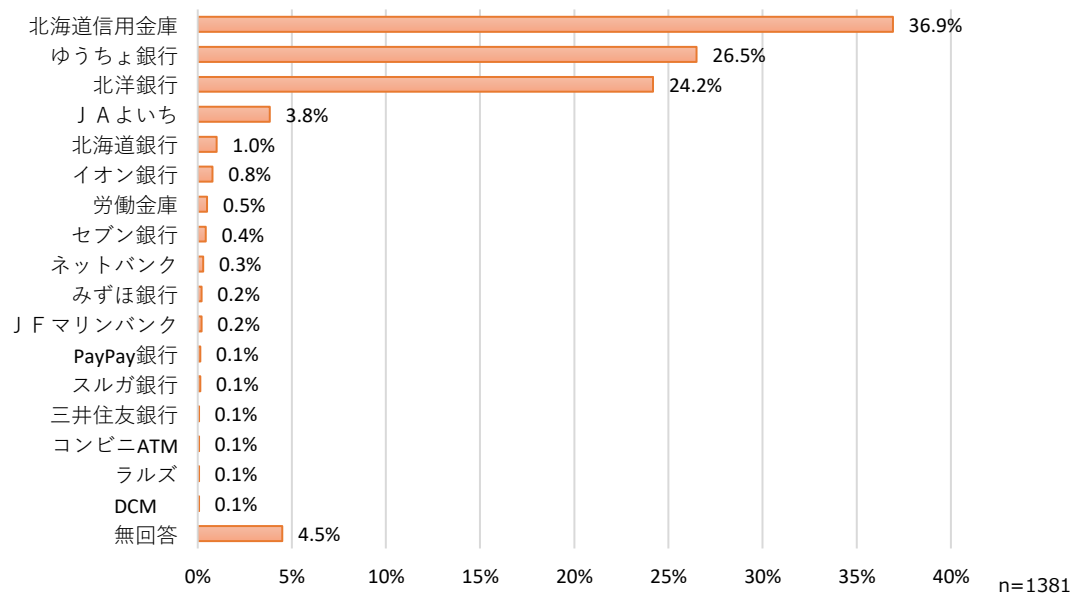
行きやすさは、「やや満足」が40.9%、「満足」が28.2%と不満に対する回答を上回りましたが、食料品などの買い物施設より評価は低くなりました。



問3 最もよく利用する金融機関を1つお答えください。

1. 金融機関名

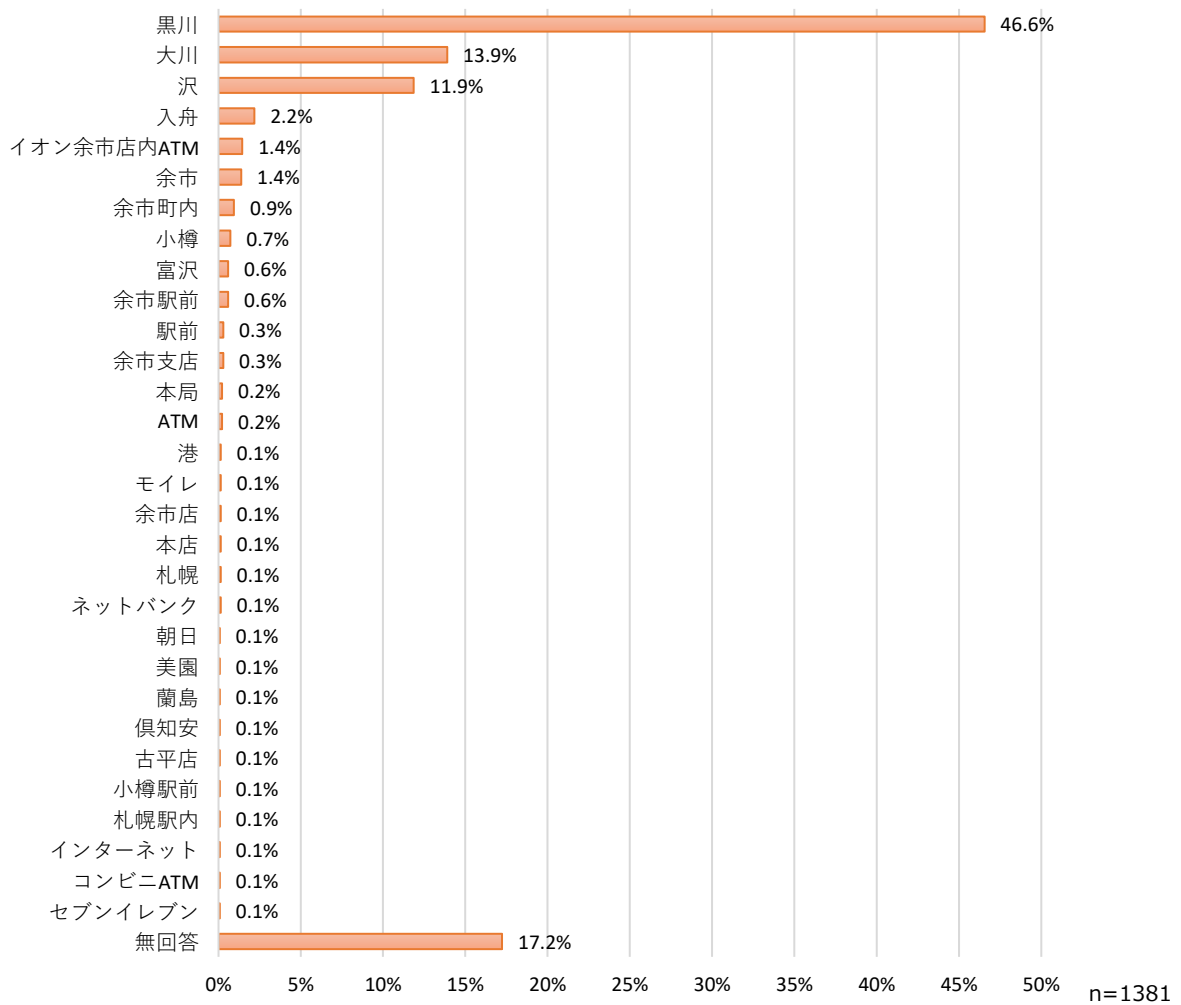
最もよく利用する金融機関は、「信用金庫」が36.9%で最も多く、続いて「ゆうちょ銀行」が26.5%、「北洋銀行」が24.2%と、3つの機関で9割以上の回答数となりました。



2. 場所

利用する場所は、「黒川」が 46.6%で最も多く、続いて「大川」が 13.9%、「沢」が 11.9%となり、買い物に比べて黒川の占める割合が少なくなりました。

地区別では、東部地区及び中部地区の居住者は「黒川」と「大川」の金融機関を、西部地区の居住者は「沢」と「黒川」の金融機関を利用していることがわかりました。

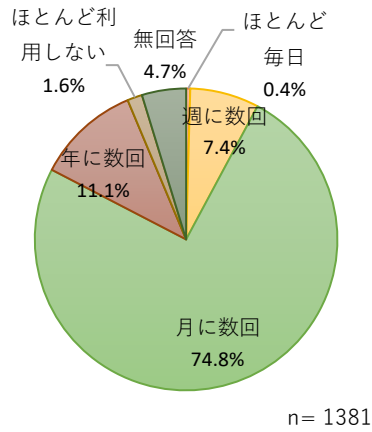


地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	53.1%	52.6%	21.2%	46.6%
大川	19.3%	15.7%	3.6%	13.9%
沢	0.7%	4.4%	51.3%	11.9%
入舟	0.1%	2.9%	1.0%	2.2%
イオン余市店内 ATM	1.9%	1.8%	0.7%	1.4%
余市	1.5%	1.7%	1.0%	1.4%
余市町内	1.2%	1.0%	0.7%	0.9%
小樽	1.0%	0.6%	0.3%	0.7%
富沢	0.0%	0.1%	2.6%	0.6%
余市駅前	0.4%	0.8%	0.0%	0.6%
駅前	0.3%	0.4%	0.0%	0.3%
余市支店	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
本局	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%
ATM	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
港	0.0%	0.0%	0.7%	0.1%
モイレ	0.0%	0.2%	0.3%	0.1%
余市店	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%
本店	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
札幌	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%
ネットバンク	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%
朝日	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
美園	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
蘭島	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
倶知安	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
古平店	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
小樽駅前	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
札幌駅内	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
インターネット	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
コンビニ ATM	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
セブンイレブン	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
無回答	18.3%	15.7%	15.4%	17.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

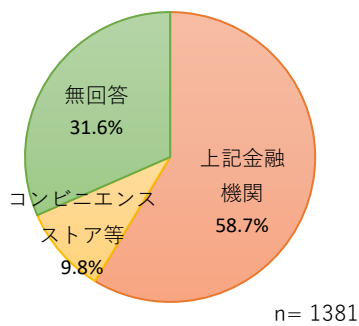
3. 利用頻度

利用頻度は、「月に数回」が74.8%で大半を占めました。「年に数回」「週に数回」は比較的少数、「ほとんど利用しない」「ほとんど毎日」はごく少数でした。



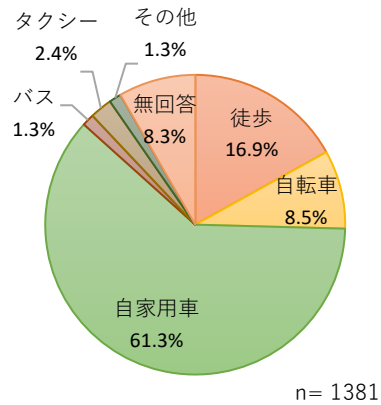
4. 出入金する場所

出入金する場所は、「上記金融機関」が58.7%で最も多く、「コンビニエンスストア等」は9.8%でした。



5. 移動手段（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「自家用車」が61.3%で最も多く、「徒歩」が16.9%、「自転車」が8.5%となり、バスやタクシーの利用はほとんどありませんでした。

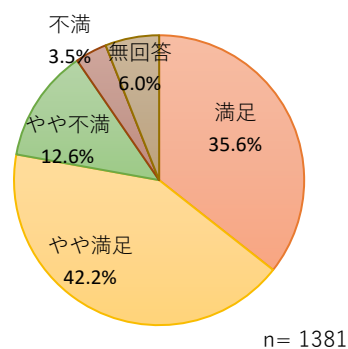


「その他」の記載内容（16件）

記載内容	回答数
JR	1
家族の運転 子供に頼む（2） 子供に連れて行ってもらう 娘が自家用車で 娘が行っています 娘の車 弟に頼む 友達の車	9
ヘルパーの送迎	1
夏は自転車、冬はタクシー 夏は自家用車、冬は徒歩 片道個人に依頼、帰途タクシー	3
冬以外はバイク	1
歩行器	1
合計	16

6. 金融機関に直接行く場合の行きやすさ（1つに○）

行きやすさは、「やや満足」が42.2%、「満足」が35.6%で、家電・家具などの買い物施設と同程度の評価となりました。



問4 最もよく利用するかかりつけの病院や診療所への通院についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名

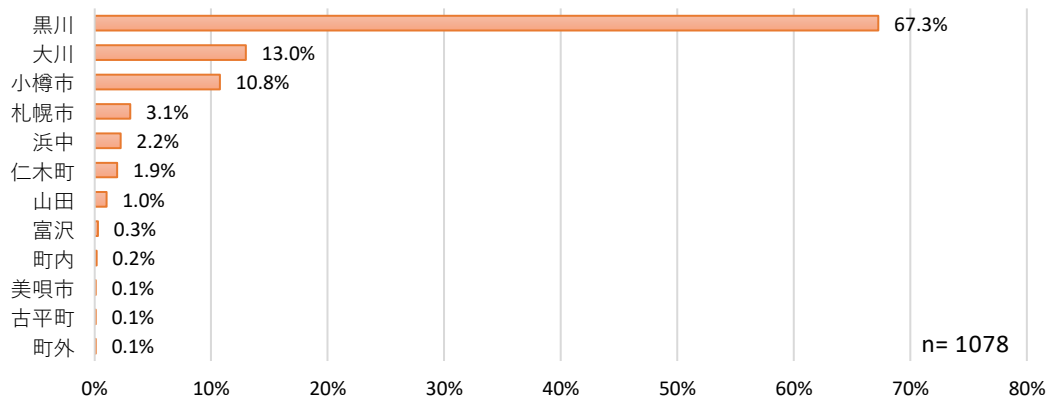
最もよく利用する通院施設は、「余市協会病院」が25.6%で最も多く、続いて「中島内科」が16.0%、「池田内科クリニック」が9.6%となり、回答者からは約80施設と多くの病院・診療所があげられました。



2. 場所

利用する場所は、「黒川」が67.3%で最も多く、続いて「大川」が13.0%、「小樽市」が10.8%となりました。

地区別に見ても概ね同様の傾向ですが、西部地区の居住者は「浜中」も利用していることがわかりました。



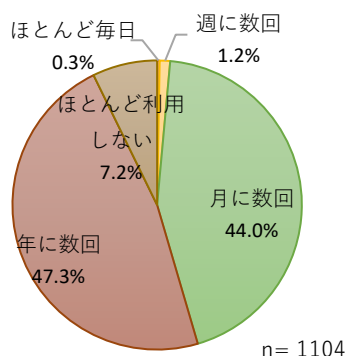
地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	67.3%	68.5%	65.4%	67.3%
大川	14.9%	13.1%	9.2%	13.0%
小樽市	11.4%	11.0%	9.6%	10.8%
札幌市	3.5%	3.3%	2.1%	3.1%
浜中	0.4%	1.2%	7.9%	2.2%
山田	0.4%	0.7%	2.5%	1.0%
町内	0.1%	0.1%	0.4%	0.2%
仁木町	1.6%	1.6%	2.1%	1.9%
古平町	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
美唄市	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 利用頻度

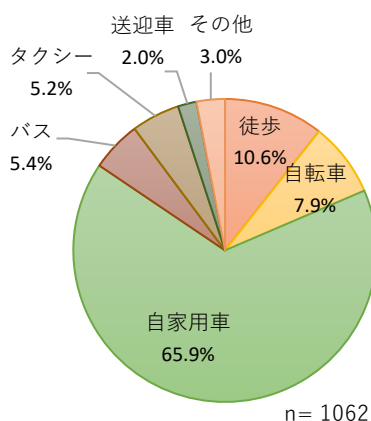
利用頻度は、「年に数回」が47.3%、「月に数回」が44.0%でほぼ同数となりました。

「ほとんど利用しない」は比較的少なく、「週に数回」「ほとんど毎日」はごく少数でした。



4. 移動手段（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「自家用車」が65.9%で最も多く、「自転車」は7.9%、「バス」や「タクシー」は5%程度の利用と、他の店舗や施設への移動と同じく、自家用車に依存している傾向がみられました。

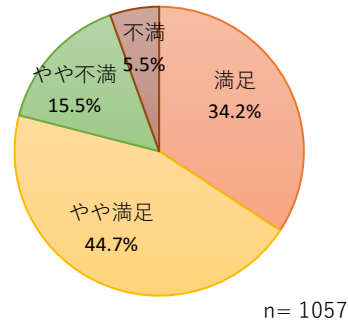


「その他」の記載内容（30件）

記載内容	回答数
JR（4） 電車（2） 汽車	7
家族の運転 夫の運転の自家用車 娘の車（2） 姉の車 弟に車で連れて行ってもらう 子供の車で通院しています 子供に連れて行ってもらう 次男のお嫁さんの自家用車 人の車	10
ヘルパーの送迎 ケアセンター車 介護タクシー（3）	5
研修先の人の車（2）	2
病院に送り向いしてもらっている 往診（2）	3
夏は自転車、冬はタクシー 夏は自家用車、冬は親戚かタクシー 片道個人に依頼、帰途タクシー	3
合計	30

5. 行きやすさ（1つに○）

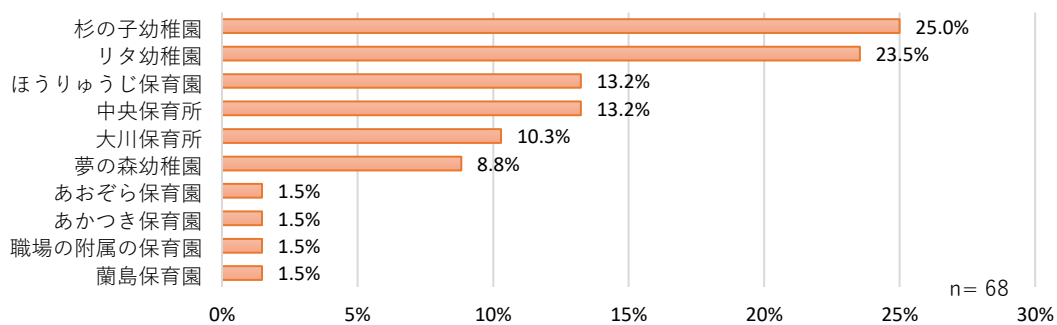
行きやすさは、「やや満足」が 44.7%、「満足」が 34.2%で、「不満」や「やや不満」は少数という、家電・家具などの買い物施設と同程度の評価となりました。



問5 保育園・幼稚園等についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名

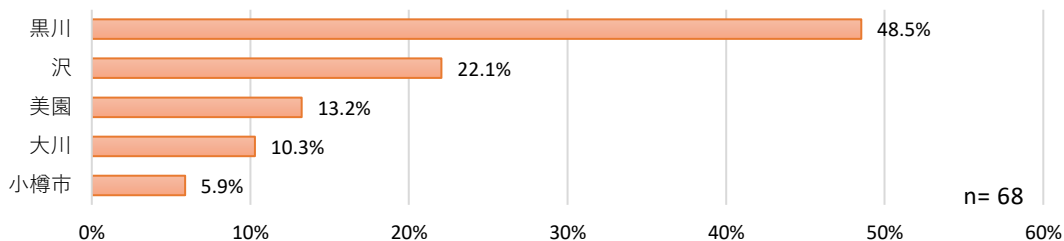
保育園・幼稚園では、「杉の子幼稚園」が 25.0%、「リタ幼稚園」が 23.5%と利用が多くなりました。以下、「ほうりゅうじ保育園」「中央保育所」「大川保育所」「夢の森幼稚園」が少数、「あおぞら保育園」「あかつき保育園」「職場の附属の保育園」「蘭島保育園」がごく少数でした。



2. 場所

利用する場所は、「黒川」が48.5%で最も多く、続いて「沢町」が22.1%、「美園」が13.2%、「大川」が10.3%、「小樽市・小樽」が5.9%となりました。

地区別では、東部地区と中部地区の居住者は概ね同様の傾向ですが、西部地区は「沢町」が大多数で、一部「黒川」を利用していることがわかりました。

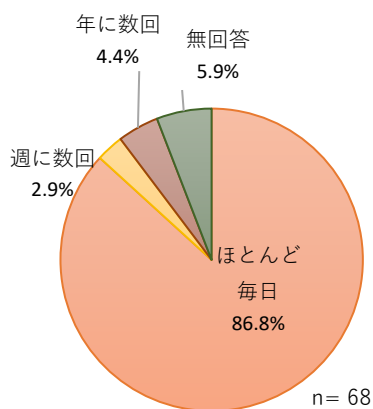


地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	54.7%	45.8%	16.7%	48.5%
大川	13.2%	10.2%	0.0%	10.3%
沢	15.1%	22.0%	83.3%	22.1%
美園	11.3%	15.3%	0.0%	13.2%
小樽市	5.7%	6.8%	0.0%	5.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

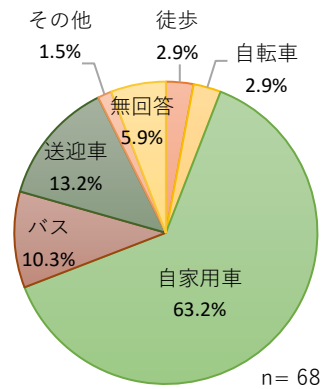
3. 利用頻度

利用頻度は、「ほとんど毎日」が86.8%と大部分を占め、「年に数回」「週に数回」はごく少数でした。



4. 移動手段（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「自家用車」が63.2%で最も多く、続いて「送迎車」が多くなりましたが回答は13.2%となり、他の店舗や施設への移動と同じく、自家用車に依存している傾向がみられました。

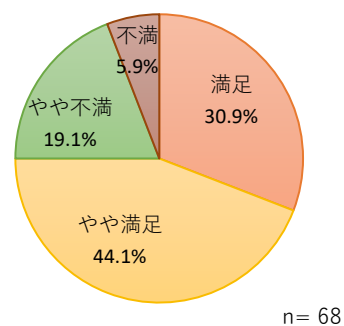


「その他」の記載内容（1件）

記載内容
園バス

5. 行きやすさ（1つに○）

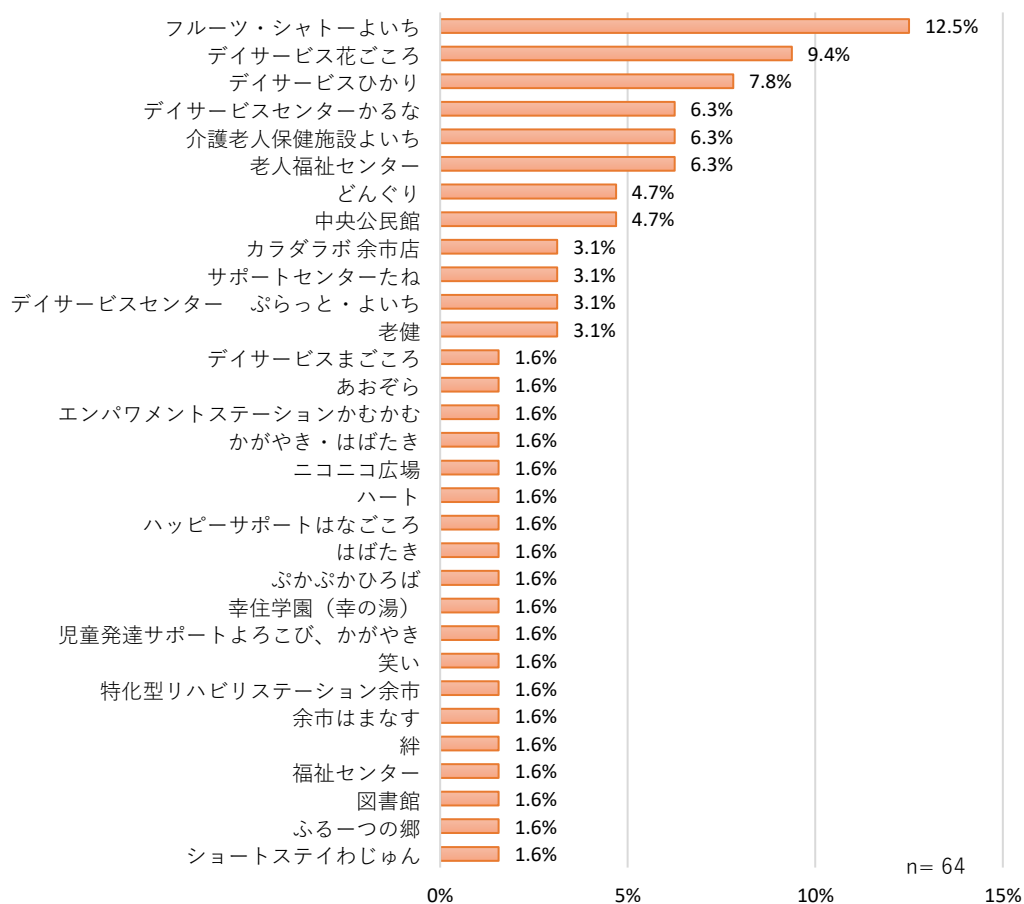
行きやすさは、「やや満足」が44.1%、「満足」が30.9%で、「不満」や「やや不満」は少数という、家電・家具などの買い物施設と同程度の評価となりました。



問6 通所型の福祉施設の利用についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名

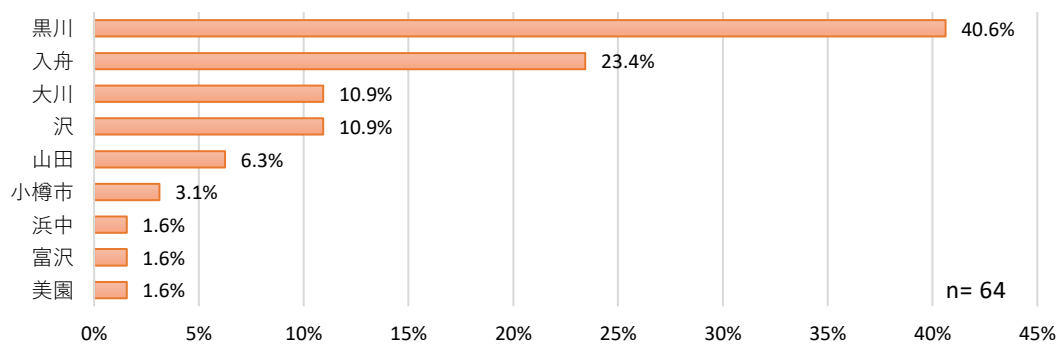
通所型の福祉施設の利用は、「フルーツ・シャトーよいち」が12.5%、「デイサービス花ごころ」が9.4%、「デイサービスひかり」が7.8%、「デイサービスセンターかるな」「介護老人保健施設よいち」「老人福祉センター」が6.3%となりました。



2. 場所

利用する場所は、「黒川」が40.6%で最も多く、続いて「入舟」が23.4%、「大川」と「沢町」と「浜中」が10.9%となりました。「浜中」「富沢」「美園」はごく少数でした。

地区別では、東部地区の居住者は「黒川」「入舟」「大川」、中部地区は「黒川」「入舟」「大川」「沢」、西部地区は「黒川」「入舟」「沢」「山田」と、少しずつ地域性の違いがあることがわかりました。

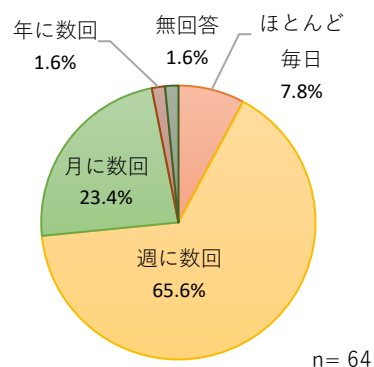


地区区分別の集計

	東部地区	中部地区	西部地区	全体
黒川	50.0%	41.7%	15.8%	40.6%
入舟	21.1%	20.8%	36.8%	23.4%
大川	15.8%	14.6%	5.3%	10.9%
沢	5.3%	10.4%	15.8%	10.9%
山田	2.6%	6.3%	10.5%	6.3%
美園	0.0%	2.1%	5.3%	1.6%
富沢	0.0%	2.1%	5.3%	1.6%
浜中	0.0%	0.0%	5.3%	1.6%
小樽市	5.3%	2.1%	0.0%	3.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

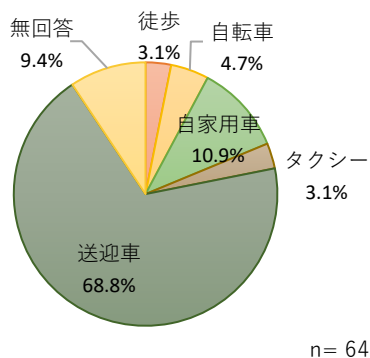
3. 利用頻度

利用頻度は、「週に数回」が65.6%で最も多くなり、「月に数回」は23.4%、「ほとんど毎日」は7.8%、「年に数回」はごく少数でした。



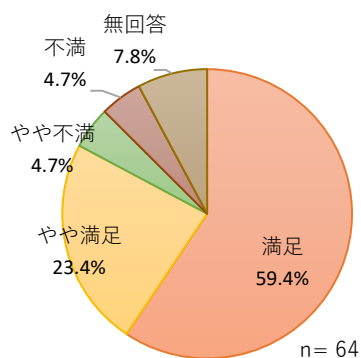
4. 移動手段（主とするもの1つに○）

移動手段等は、「送迎車」が68.8%で最も多く、「自家用車」の利用は10.9%と他の店舗や施設への移動とは異なり比較的少数で、「徒歩」「タクシー」はごく少数となりました。



5. 行きやすさ（1つに○）

行きやすさは、「満足」が59.4%と他の施設と比較して最も高い数値となり、「不満」「やや不満」は少数でした。送迎車での移動が高い評価につながったと考えられます。

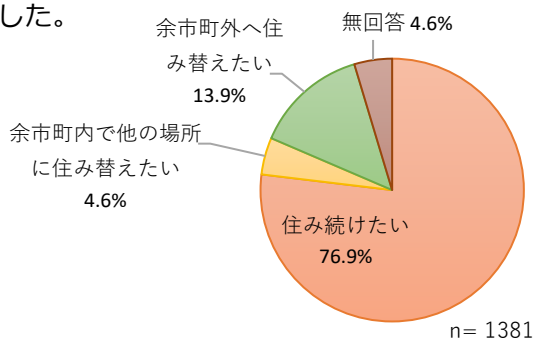


**問7 概ね10年以内において、現在の居住地に住み続けたいですか。
また、町外へ住み替えたい場合、その市町村名をご記入ください。【1つに○】**

永住に対する意向では、「住み続けたい」が76.9%で最も多く、住み替えについては「町外」が13.9%と、「町内での住み替え」の4.6%を上回りました。

町内では「黒川町」が16件、「大川町」が3件、「黒川町・大川町」が4件と、両地域に人気集中しました。「栄町」「美園町付近」「沢町」「登、豊丘」も少数挙げられました。

町外では「札幌市」が非常に多く、次いで「小樽市」ですが、小樽以外の後志管内や道内外の都市は比較的少数でした。



「余市町内で他の場所に住み替えたい」の記載内容（62件）

記載内容		回答数
黒川町 16	黒川町	9
	黒川	5
	黒川地域	1
	黒川町でも駅に近い所	1
大川町 3	大川町	2
	大川方面	1
黒川町・大川町 4	黒川町、もしくは大川町。	1
	大川、黒川	1
	大川か黒川	1
	大川地区、黒川地区。	1
栄町 3	栄町	2
	栄町のもっと田舎。	1
その他町名 3	美園町付近	1
	沢町	1
	登、豊丘	1
町外 4	札幌市	2
	仁木町	1
	岩内方面	1
地域名以外の記載 12	買い物、病院が近い所。	1
	買い物等、気軽にすぐ行ける所。	1
	町内でバスの便で買い物に行きやすい所なら。	1
	1階に降りたい。	1
	余市駅に最も近い地域。	1
	公民館の近く。	1
	今住んでいる場所の近く。	1
	お風呂の使える所、公営住宅。	1
	介護施設	1
	良い所があればどこでも。	1
	まだ分からない。	1
	特に無し。	1
無記載	17	
合計		62

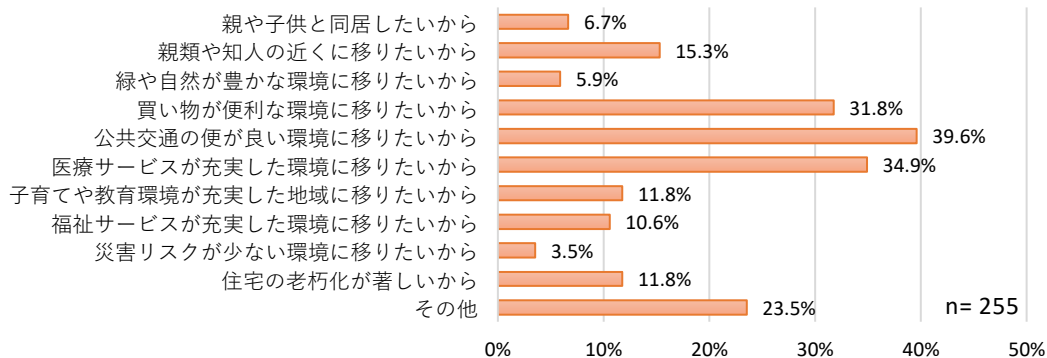
「余市町外へ住み替えたい」の記載内容（190件）

記載内容		回答数
札幌市 94	札幌市	90
	札幌	1
	札幌 便利だから。	1
	札幌市手稲区	1
	札幌市内	1
小樽市 17	小樽市	15
	小樽。病院が近いから。	1
	小樽市内	1
札幌市・ 小樽市 10	札幌・小樽	1
	札幌市、小樽市	1
	札幌市、小樽市。	1
	札幌市か小樽市。	1
	小樽市、札幌市	1
	小樽市か札幌市	1
	小樽、札幌等。	1
	小樽か札幌	1
	小樽か札幌。家族がいるので。	1
小樽市又は札幌市	1	
後志 7	仁木町	4
	積丹町	1
	岩内町、共和町	1
	二セコ町	1
その他 道内市町村 11	伊達市	1
	北広島市	1
	江別市	1
	苫小牧	1
	北斗市	1
	札幌市、又は道外。	1
	札幌市、又は小樽市、又は倶知安町	1
	仁木町又は札幌市	1
	札幌市か函館市	1
	苫小牧、千歳。	1
道東（泊、幌延より遠い地域）	1	
道外市町村 13	むつ市大湊	1
	埼玉県	1
	東京都	1
	東京	1
	神奈川県	1
	逗子市	1
	大阪府	1
	大阪市	1
	沖縄か九州	1
	関東に戻る。	1
	本州に帰りたい。	1
	道県外	1
	国外	1
その他 9	故郷に帰りたい。	1
	異動があるため不明。	1
	検討中	1
	考えている。まだ未定です。	1
	決めていない。	1
	詳しくは決めていない。	1
	不明。	1
	未定	1
	未定。様々な町で生活を経験したい為。	1
無記載	31	
合 計		192

問 8 問 7 で「 2. 余市町内で他の場所に住み替えたい」「 3. 余市町外へ住み替えたい」と答えた方にお聞きします。町内の他の地域や町外に住み替えたいと思う理由をお答えください。

住み替えたい理由では、「公共交通の便が良い環境」が 39.6%、「医療サービスが充実した環境」が 34.9%、「買物が便利な環境」が 31.8%と多くなりました。「親類知人の近く」や「子育て・教育環境」「福祉サービス」が充実した環境は比較的少数、「親や子供と同居」や「緑や自然が豊かな環境」「災害リスクが少ない環境」はごく少数でした。

「その他」の意見では、「仕事」や「進学」による異動をはじめ、「除雪ができないため」、「買い物や通院が不便」、「家賃が高い」といった問題が出されました。



「その他」の記載内容 (60 件)

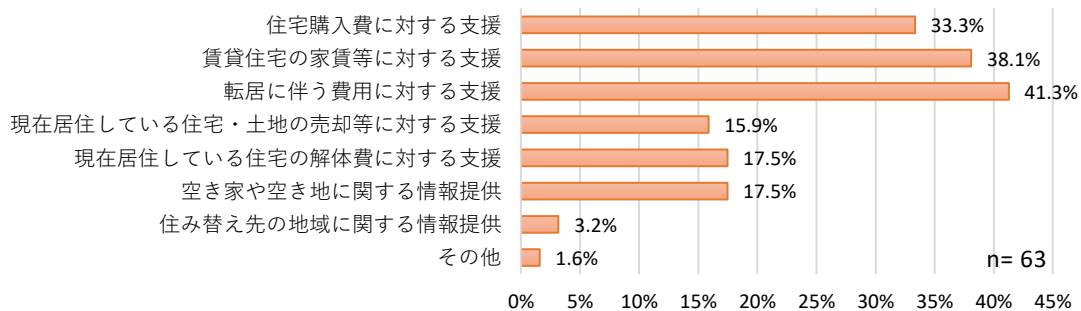
分類	記載内容
仕事	仕事の都合。
	仕事の関係（転勤がある）。
	転勤族なので、希望なし。
	転勤のため。
	転勤があるため。
	余市だと働く場所が少ないため。
	働く場所の多さ。
	仕事の選択肢が多いから。
	仕事を選べる。
	障がい者なので働く場所が余市に無いから。
職場が近くなるから。	
除雪	除雪が 3 日に 1 回ぐらいしか来ないから。
	除雪が無理。寒い。
	雪の対応ができない。
	雪が多すぎて身体が壊れてしまう。
	老後の生活、除排雪等。
	趣味や除雪の問題から利便性を考えたら札幌市が良いなと思ったので。
	雪が少なくて楽。
	除雪作業の困難。
まちづくり	魅力的な街へ移りたい。
	将来的に自営業をしたいと考えており、人口の多い自治体有利だと思っている為。
	買い物、病院など不自由な面が多い。
	病院が近いから。
	バス停が遠い。老後の心配。美園団地、タクシー代がかかる。
	長い距離を歩けない。
	現在、介護 1 の状態なので、これ以上になると一人で住めない。
	登川にゴミ捨てが多い。町道面がボロボロ。
運転ができなくなる。市民合同納骨が出来る。	

「その他」の記載内容（60件）つづき

分類	記載内容
進学	娘の高校進学の為。
	大学に近いから。
	進学や就職に難しいから。
	大学へ通学するため。
	進学のため。
家賃などの料金	水道代が安い所へ。
	余市町の家賃が高いので、それなら小樽に住んだほうが……と思う。
	税金、水道料金の安い町に移りたいから。
	水道料が高すぎるから。
住宅	家賃が高いから。
	住宅に不満があるため。
	住宅が古いから。
	家を建てたい。
	夫婦二人には家が大きすぎる。
コミュニティ	ペットOKの物件が少ない。
	年を取った時、何かあったら近くの方が子供の負担を少しでも軽くしたい。
	移り住んで人の干渉特（特に元々住み続けている人からの）が、この地域は多いかと思われています。暴言など、よそ者扱いを受けたことがあります。この様なことがないように、町として対策を考えていただきたいと思います。
	閉鎖的、年寄り（特に男性）が影響力を持っていてやりにくい。
	子育て世代に優しい。
JR	隣近所と折り合いが悪い。
	JRが無くなる理由が大きい。泊原発が不安。
	風力発電やJR廃線など済み続けられるか悩みどころ。
	小樽～余市間鉄道廃止で人口減は加速する。小樽～札幌へ進学の子育て世代、余市に住居は無理。
身内の都合	彼氏と同居。
	婚約の為。
	自宅が札幌市にあるため。
その他	未定。様々な町で生活を経験したい為。
	生まれ育った場所。
	どこに行きたいかは特に無いが、今の住んでいる所から離れたい。
	ほとんどが重要であり、3つではおかしい！
	治安維持・国防の充実。外国人に土地を売らない！ 水源地を奪われないようにすると いった法整備・対策を講じる。海岸線の防備、漂着船・不審者の監視。
	わくわくする道の駅の運営です。
気候が合わない。	

問9 問7で「2. 余市町内で他の場所に住み替えたい」と答えた方にお聞きします。住み替える場合、あると良い支援をお答えください。【3つまで○】

住み替えの支援では、「転居に伴う費用支援」が41.3%、「賃貸住宅の家賃等に対する支援」が38.1%、「住宅購入費支援」が33.3%と多くなりました。「住宅・土地の売却」「住宅の解体費」に対する支援や「空き家や空き地に関する情報提供」は比較的少数で、「住み替え先の地域に関する情報提供」「その他」はごく少数でした。

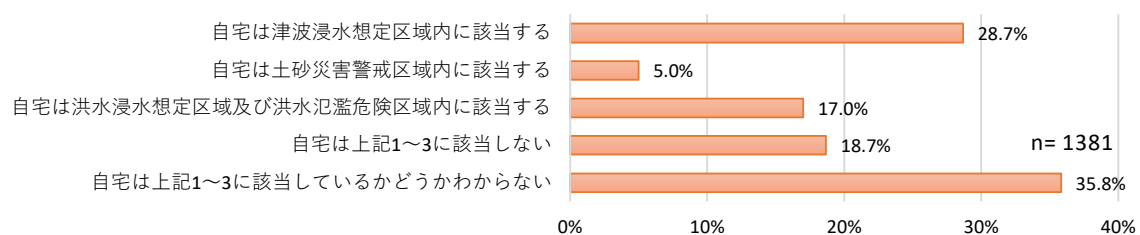


「その他」の記載内容（1件）

記載内容
雪かき等しなくて良い所。

問10 余市町内の災害危険区域について伺います。【該当するすべてに○】

災害危険区域について、「津波浸水想定区域」28.7%、「該当しない」18.7%、「洪水浸水想定／氾濫危険区域」17.0%、「土砂災害警戒区域」5.0%と、自宅が該当するかを認識している回答を合わせると大多数ですが、「自宅は該当しているかわからない」も35.8%と多くの回答がありました。



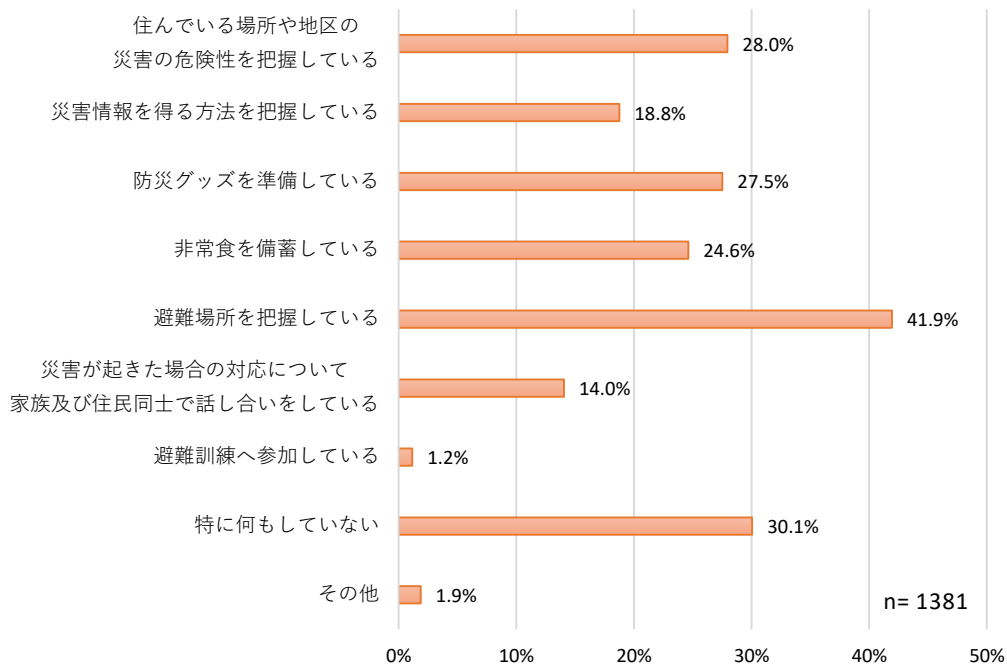
問11 災害への備えとして普段どのようなことをしていますか。

【該当するすべてに○】

災害への備えでは、「避難場所を把握している」が41.9%で最も多くなりましたが、「特に何もしていない」も30.1%と、次いで多い割合となりました。

「地区の危険性を把握」28.0%、「防災グッズを準備」27.5%、「非常食を備蓄」24.6%、「災害情報を得る方法を把握」は18.8%、「災害対応について家族・住民同士で話し合っている」14.0%も一定の割合を示しています。

最も少なかったのは、「避難訓練へ参加している」で、1.2%しか回答がありませんでした。



「その他」の記載内容 (26 件)

分類	記載内容
情報発信・周知	町の情報発信が少なすぎで対応出来ずにいる。
	津波、水害時の避難場所が分からない！指定しているだけで実際に訓練も説明もない。これで良いのでしょうか？
	個々に無線連絡ないので車での広報活動と思われるが、窓を閉めていると聞こえないから不安である。
	避難が明確に把握していない。
	移ったばかりで良く分からない。
準備・備え	余市町に安全な所はあるか？ 不安です。
	カンパン、レトルト、スポドリ。前回、地震停電の際、ソーラーパネル設置し蓄電池使用可能。週1度のまとめ買いをしている為、食材の心配はなかった。
	水は常に用意している。40ℓ位。
	懐中電灯のみ準備している。
	会社で避難訓練をしている。
避難場所	トレーニング
	避難場所が古くてかえって危ないのではと心配しています。安心して避難できる建物だと安心できるのですが……。
	避難場所が不便で不安を感じる。
	避難場所を見直してほしい！（場所的に不安がある）
弱者への支援	どこもが遠いです。近くに林病院があります。
	車椅子生活のため。どうして良いのか分からない。
	息子が障がいを持っているので心配です。
	危険は分かっても一人にいる時はどうしようもない。
コミュニティ	災害時の避難は一人で不可能なので、その連携方法を行政主導で徹底してほしい。
	足が無いので近くに住む弟妹に頼る。
その他	近隣同士でお願いしておく。
	登川のふちブロック積みしてほしい。
	避難訓練1度も無し。
	常に不安感を持っている。
その他	余市町は過去に災害が無かったので安心しています。
	国民としての税金は未払いしないと自信あります。

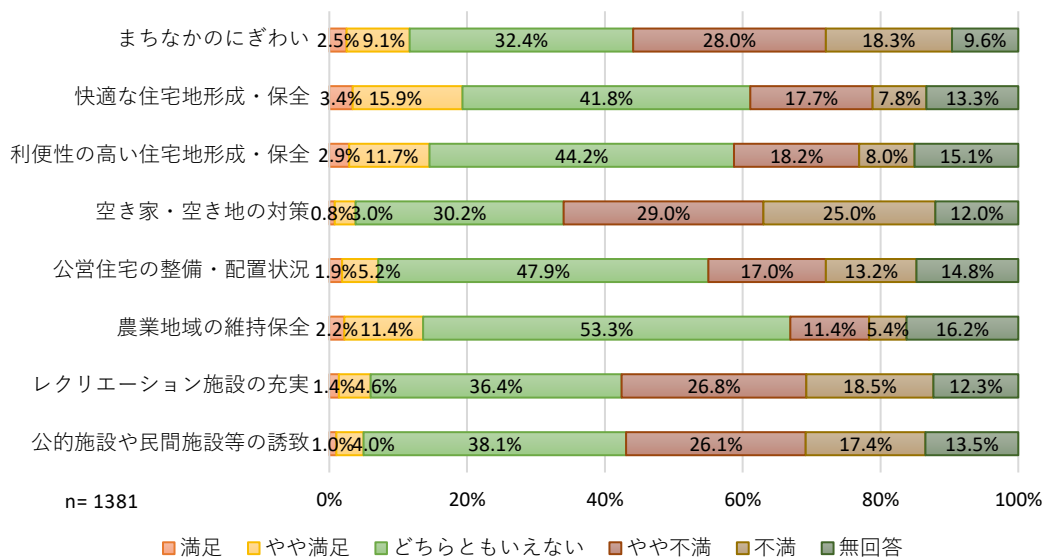
3. 余市町の今後のまちづくりについて伺います。

問1 土地の使い方について「満足度」と「重要度」を伺います。

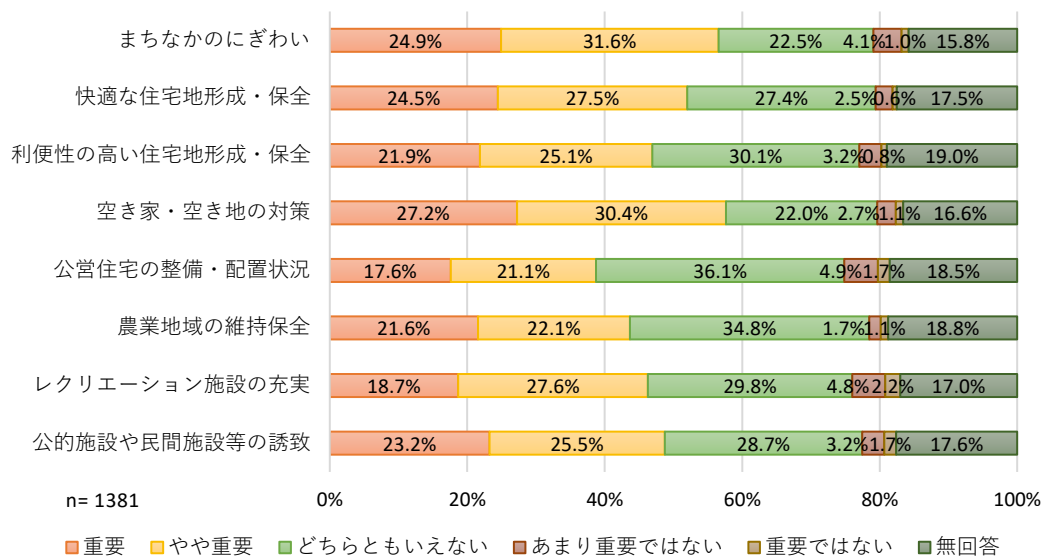
土地の使い方の満足度は、どの項目も「どちらともいえない」が3～5割程度で最も多く、満足では「快適な住宅地形成・保全」、不満では「空き家・空き地の対策」「まちなかのぎわい」「レク施設の充実」「公的施設や民間施設等の誘致」が比較的多くなりました。

重要度では、「空き家・空き地の対策」で「重要」が27.2%、「やや重要」が30.4%となりましたが、他の項目と大きな差はありませんでした。

【満足度】



【重要度】

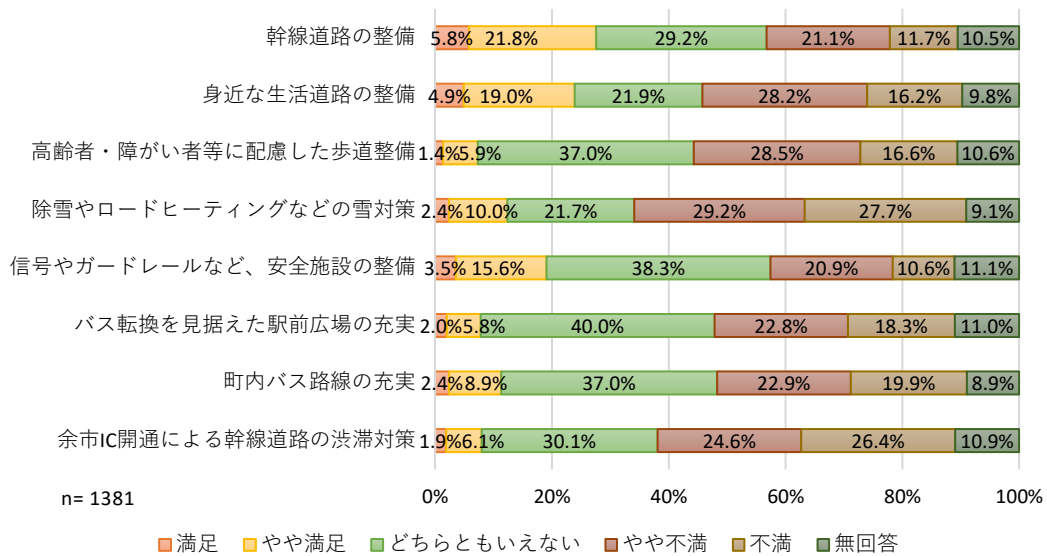


問2 道路や交通について「満足度」と「重要度」を伺います。

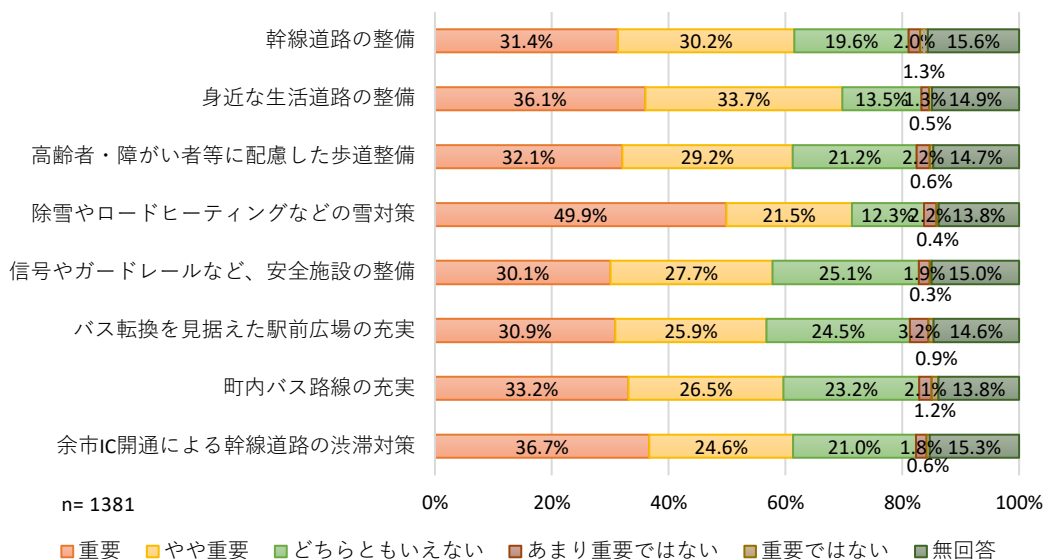
道路や交通の満足度は、「除雪やロードヒーティングなどの雪対策」で「不満」が 27.7%、「やや不満」が 29.2%、「余市 IC 開通による幹線道路の渋滞対策」で「不満」が 26.4%、「やや不満」が 24.6%など、どの項目も満足よりも不満に対する回答が多くなりました。

重要度では、「除雪やロードヒーティングなどの雪対策」で「重要」が 49.9%と、他の項目と比較して 20%程度多い割合を示しました。「身近な生活道路の整備」も「重要」「やや重要」を合わせると比較的多い割合を示しました。

【満足度】



【重要度】

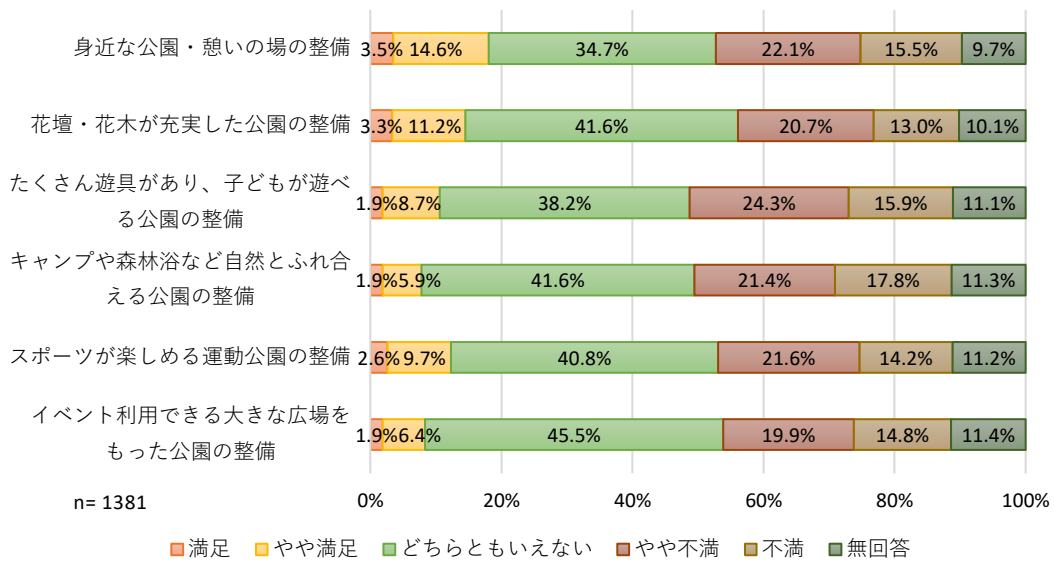


問3 公園や緑地について「満足度」と「重要度」を伺います。

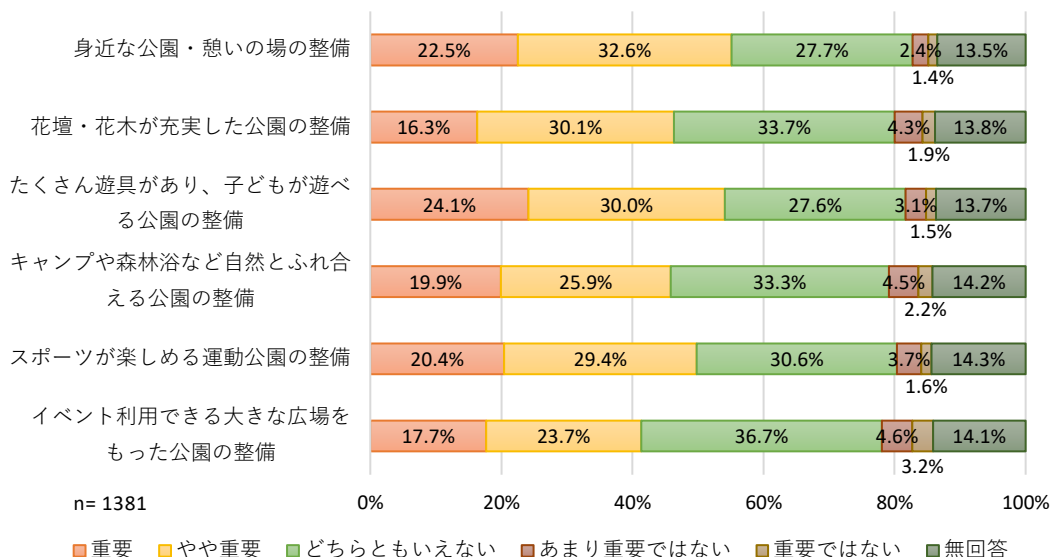
公園や緑地の満足度は、どの項目も「どちらともいえない」が4割程度で最も多く、項目ごとの大きな違いは見られませんでした。

重要度では、「やや重要」が「身近な公園・憩いの場の整備」で32.6%、「花壇・花木が充実した公園の整備」で30.1%、「たくさん遊具があり、子どもが遊べる公園の整備」で30.0%と多くなりましたが、項目ごとの比較では大きな差はありませんでした。

【満足度】



【重要度】

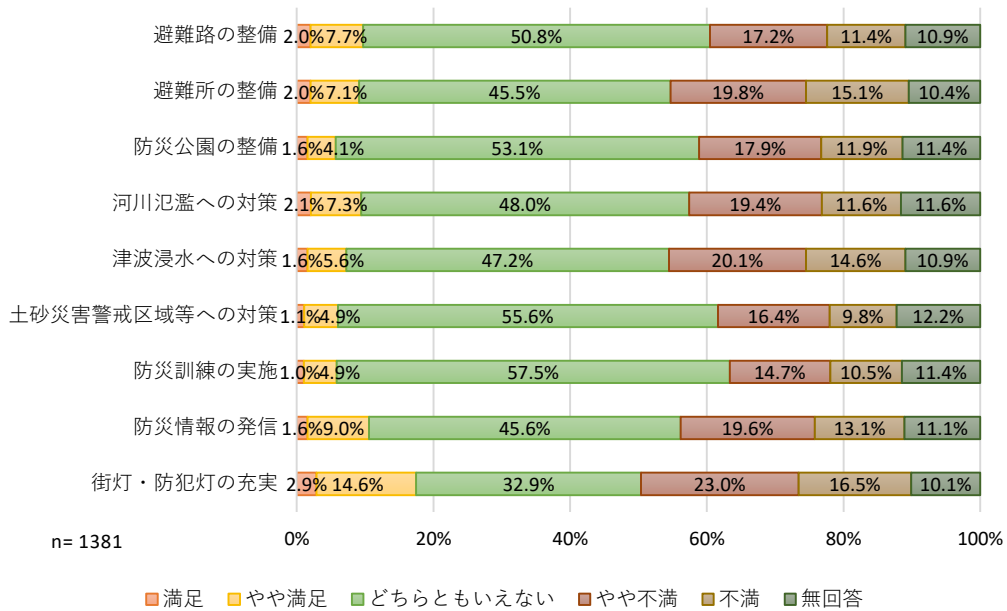


問4 防災や防犯について「満足度」と「重要度」を伺います。

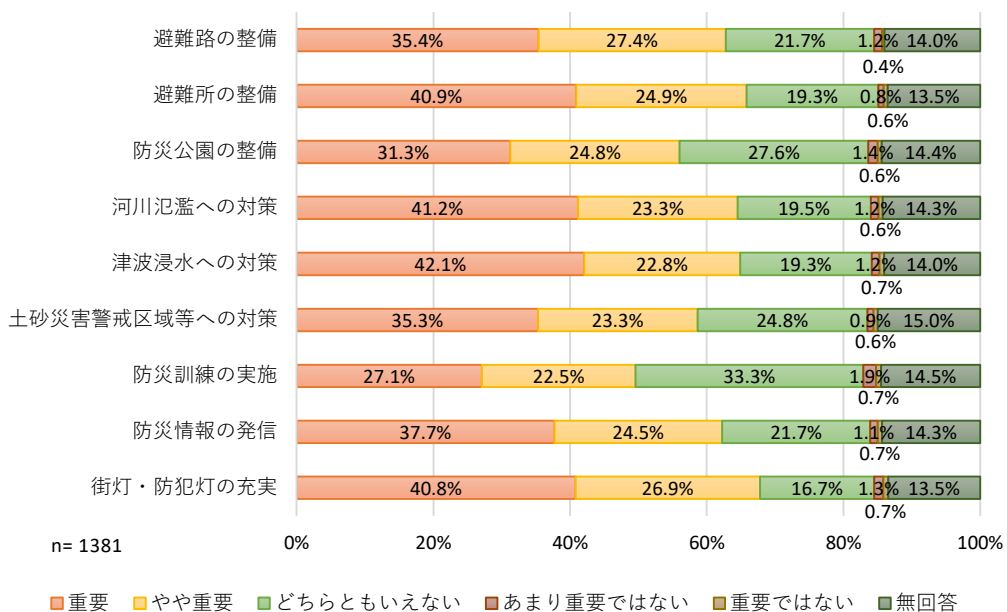
防災や防犯の満足度は、「街灯・防犯灯の充実」が他の項目に比べて「どちらともいえない」が少なく、満足・不満いずれの回答も多くなりました。他の項目（避難路・避難所・防災公園の整備、河川氾濫・津波浸水・土砂災害対策、防災訓練の実施、防災情報の発信）は「どちらともいえない」が5割程度で最多となりました。

重要度では、「防災公園の整備」と「防災訓練の実施」は、他の項目よりも重要・やや重要な割合が低くなりました。

【満足度】



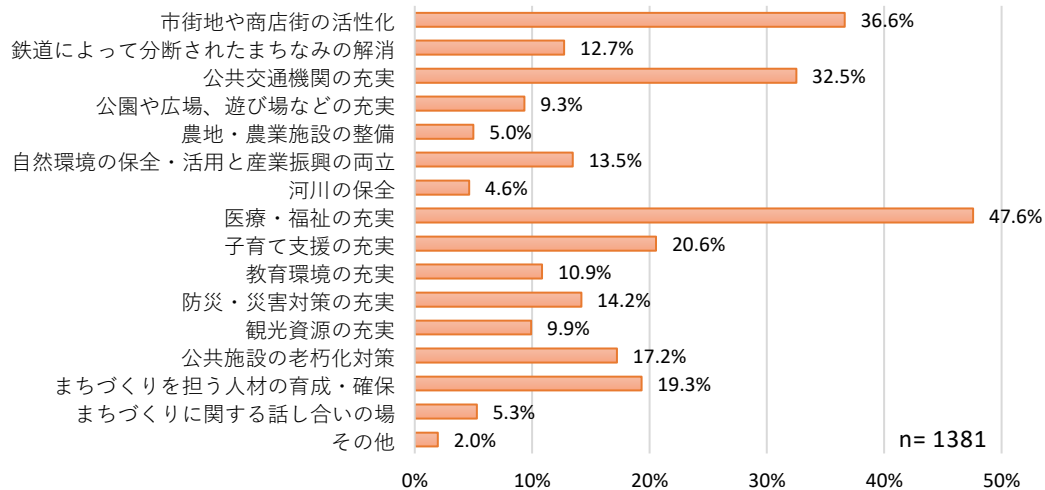
【重要度】



問5 暮らしやすいまちになるために最も重要だと思うことをお答えください。

【3つまで○】

暮らしやすいまちになるために最も重要なことは、「医療・福祉の充実」が47.6%で最も多く、続いて「市街地や商店街の活性化」が36.6%、「公共交通機関の充実」が32.5%となりました。



「その他」の記載内容（24件）

分類	記載内容
インフラ整備	除雪・排雪・道路整備。
	道路の直しをお願いします。
	鉄道の維持。
	公共だけではなく、民間の力も導入した交通インフラの確立。
	農林水産業（一次産業の振興）の基盤整備。
	水道料金の安さ！！
雇用	仕事、会社の誘致。
	町内の働ける会社の安定、若者が働きやすい会社。
	IT企業の誘致等。
	財政確保の為に職場環境の充実（働き手の流出を抑える）。
	障がい者雇用の働く場所を増やしてほしい。
施設整備	役場が遠すぎるので、例えば「簡易支所」的な施設の設置など……。
	買い物問題。
	空き家対策。
	スクラップアンドビルド。
道の駅・観光	ぼろい役場を建て替えたなら？何か災害があった時、一番機能しなければならないのに。
	道の駅を広く充実させて人がたくさん来るようにしてほしい。道の駅を目当てに来るような場所にしてほしい。
	道の駅新築。
	町民も観光客も楽しめる道の駅の充実さ、展開。
高齢者	余市に合った川、漁を利用した視点、資源を活かす。例えば、余市川…あゆ場迄のボート、観光客。もっと余市の良さをアピールする事。
	高齢者の多い町なので、高齢者福祉にもっと力を注いで頂きたい。
	その他、認知症相談窓口などの充実。
その他	老人が安心して暮せる公共住宅。
	行政が、しっかりと明確に「つくりたい町」を現わし、町民を説得してリーダーシップを持って進む姿を現わすことが一番大事！
	人口をとにかく増やす（2万人くらいに。魅力を増すことにより）。

4. 自由記述

自由記述では、450件の回答が得られ、内容では「余市 IC 開通に伴う周辺道路交通量増加への対応」、「老朽化に伴う道路や公共施設の整備」、「JR 廃線をはじめとする地域公共交通のあり方」、「除雪の充実」、「高齢者や子育て世代への支援」、「道の駅や火葬場への要望」が多くなりました。

アンケートから見る余市町の進むべき方向性

①人口減少、少子高齢化への対応

余市町では、今後も少子高齢化の進行により、人口減少が続くことが想定されます。札幌市をはじめとする他都市への人口流出の加速も、アンケート結果から推察されます。

行政に関わるサービスは、ICT をはじめとするデジタル技術を駆使して省力化や業務効率化を図り、現在の水準を向上することで町民の利便性を確保する必要が考えられます。

②拠点・都市規模の設定

平成26年12月に策定された、「余市町都市計画マスタープラン」においての将来都市構造図に示すとおり、本町は西部地区・中部地区・東部地区の3エリアに大別され、この度実施したアンケートでは、東部地区に位置づけられている黒川町は、買い物、金融機関、病院・診療所、保育園・幼稚園等、通所型福祉施設のいずれも利用場所として最も選択されており、これらが立地されているJR余市駅東側のエリアを、余市町の拠点の最重点エリアと位置づけることができます。

しかしながら、既存市街地が形成されている大川町（東部地区）、浜中町・美園町（中部地区）、沢町・富沢町（西部地区）においても、後述する都市機能施設利用エリアを基に従来都市計画マスタープランにおける、拠点の考え方を再検討することが必要です。

これらの拠点のあり方と人口減少を見据え、上述したとおりJR余市駅東側のエリアの黒川町を最重点エリアと位置づけるとともに今後の人口減少を見据えた他のエリアの都市機能施設の立地状況等を勘案し、コンパクトなまちとなるような都市規模を設定することが必要と考えます。

③防災・減災対策の強化

黒川町の拠点化に際しては、余市川の津波浸水想定区域に該当するため、防災・減災対策の強化が必要といえます。

地域内の居住人口は、都市のコンパクト化により増加するため、避難施設の収容人数をさらに拡充することが求められます。また、町民の防災意識の更なる高揚のためには、避難訓練や防災教育の実施が考えられます。

④空き家の増加が招く居住環境低下への対応

余市町民の多くは、居住年数が 25 年以上かつ居住形態が持ち家といったライフスタイルであることがアンケート結果から示されています。近い将来に空き家が大量発生し、衛生環境の悪化や倒壊被害といった悪影響を及ぼすことが懸念されます。

居住環境の保全を図るには、中古住宅の流通売買を円滑に行うしくみや組織、あるいは地域で空き家を管理して治安や景観の維持につなげる方法などの検討が考えられます。

⑤住民主体のまちづくりの推進

今回のアンケートでは、多くの住民がまちづくりに関して様々な問題意識を抱えていることが把握できました。町民の意見は、広く・継続的に取り入れ、施策に反映できるしくみを構築することが求められます。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画が、実効性のある計画とするために住民主体のまちづくりを進め、持続可能な都市運営を図ることが重要と考えられます。

(都市機能施設利用エリア)

アンケートで各都市機能施設を利用する場所を訊いた結果、下表の地区を利用することがわかりました。比較的多く地区名が挙げられたのは、黒川、大川、浜中、美園、沢、富沢でした。

誘導区域を設定する際にはこの地区を中心に、施設の立地状況や防災上のリスク、現在・将来の人口密度等を勘案して区域の形状を検討します。

都市機能施設利用マトリクス

都市機能施設	東部地区	中部地区	西部地区
1.日用品	黒川	黒川	黒川 富沢
2.家電・家具・衣料品等	黒川	黒川	黒川
3.金融機関	黒川 大川	黒川 大川	黒川 沢
4.医療機関	黒川 大川 (小樽)	黒川 大川 (小樽)	黒川 大川 浜中 (小樽)
5.保育園(所)・幼稚園等	黒川 沢 大川	黒川 沢 大川 美園	黒川 沢
6.通所型福祉施設	黒川 入舟 大川	黒川 入舟 大川 沢	黒川 入舟 沢 浜中

IV. アンケート調査票（参考）

余市町のまちづくりアンケート
調査ご協力をお願い

日頃より、余市町のまちづくりにご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

現在余市町では、「都市計画マスタープラン」の見直しと「立地適正化計画」の策定を進めています。

「都市計画マスタープラン」は、余市町の20年後のあるべきまちの姿を示したものであり、平成26年12月に策定した内容をもとに、余市町を取り巻く社会環境の変化や、人口減少・少子高齢化に対応した計画とするため、見直しを行うものです。

「立地適正化計画」は、まちの施設など都市機能を誘導・集約しながら人口密度が維持されたコンパクトな市街地の形成をめざすための計画であり、令和4年度・5年度の2か年で策定します。

計画の見直し・策定にあたっては、地域に配慮した計画とするため多くの町民の皆様のご意見を頂きたく、アンケート調査を実施することといたしました。

皆さまにおかれましては忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年 8月 5日

余市町長 齊藤 啓輔

- この調査は余市町にお住いの皆さまから無作為に抽出して送付しております。
- 調査票は無記名とし、回答の結果は全て統計的に処理し、調査票に記入された個別の内容を、本調査以外の目的で使用することはございません。
- 当てはまる回答の番号に○を記載してください。
- () 欄には、具体的な内容を記入してください。
- ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、
令和4年8月22日(月)までに投函ください。
- この調査や都市計画マスタープラン、立地適正化計画に関することは、下記までお問い合わせください。

余市町建設水道部まちづくり計画課
〒046-8546
北海道余市郡余市町朝日町26番地
TEL: 0135-21-2124 (直通)

同封しているアンケート調査票へのご回答をお願いいたします。

1. あなたご自身について伺います。

次の（１）～（５）までの項目について、それぞれ該当する番号に○印をつけてください。アンケートを分析する上で必要なものですので、必ずご記入ください。

（１）年 齢	1. 10代 3. 30代 5. 50代 7. 70代以上	2. 20代 4. 40代 6. 60代
（２）家族構成	1. 単身 3. 二世帯 5. その他（	2. 夫婦のみ 4. 多世代 ）
（３）居住地域	1. 栄町 3. 黒川町 5. 入舟町 7. 朝日町 9. 山田町 11. 富沢町 13. 梅川町 15. 白岩町 17. 豊浜町	2. 登町 4. 大川町 6. 浜中町 8. 美園町 10. 沢町 12. 港町 14. 豊丘町 16. 潮見町
（４）居住年数	1. 5年未満 2. 5年以上～15年未満 3. 15年以上～25年未満 4. 25年以上	
（５）居住形態	1. 持ち家 2. 借家 3. 民間の賃貸住宅 4. 公営住宅 5. 福祉施設 6. 単身赴任中	

2. 余市町での暮らしについて伺います。

問1から問11までの質問について、あなたのお考えに最も近いものに○印を、または、直接記載してください。設問によりお答えいただく数が異なりますのでご注意ください。

問1 食料品や飲料などの買い物に最もよく利用する店舗を1つお答えください。

1. 店舗名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 移動手段等 (主とするもの1つに○)
① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
⑥ インターネット ⑦ 宅配サービス等
⑧ その他 (_____)
5. 店舗に直接行く場合の行きやすさ (1つに○)
満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

問2 家電・家具や衣料品、趣味用品などの買い物に最もよく利用する店舗を1つお答えください。

1. 店舗名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 移動手段等 (主とするもの1つに○)
① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
⑥ インターネット
⑦ その他 (_____)
5. 店舗に直接行く場合の行きやすさ (1つに○)
満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

問3 最もよく利用する金融機関を1つお答えください。

1. 金融機関名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
 - ① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
 - ④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 出入金する場所 ① 上記金融機関 ② コンビニエンスストア等
5. 移動手段 (主とするもの1つに○)
 - ① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
 - ⑥ その他 (_____)
6. 金融機関に直接行く場合の行きやすさ (1つに○)

満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

問4 最もよく利用するかかりつけの病院や診療所への通院についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
 - ① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
 - ④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 移動手段 (主とするもの1つに○)
 - ① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
 - ⑥ 送迎車 ⑦ その他 (_____)
5. 行きやすさ (1つに○)

満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

問5 保育園・幼稚園等の利用についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
 - ① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
 - ④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 移動手段 (主とするもの1つに○)
 - ① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
 - ⑥ 送迎車 ⑦ その他 (_____)
5. 行きやすさ (1つに○)

満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

問6 通所型の福祉施設の利用についてお答えください。 ※該当する方のみ

1. 施設名 (_____)
2. 場所 (大まかな住所: _____)
3. 利用頻度
① ほとんど毎日 ② 週に数回 ③ 月に数回
④ 年に数回 ⑤ ほとんど利用しない
4. 移動手段 (主とするもの1つに○)
① 徒歩 ② 自転車 ③ 自家用車 ④ バス ⑤ タクシー
⑥ 送迎車 ⑦ その他 (_____)
5. 行きやすさ (1つに○)
満足 ・ やや満足 ・ やや不満 ・ 不満

**問7 概ね10年以内において、現在の居住地に住み続けたいですか。
また、町外へ住み替えたい場合、その市町村名をご記入ください。【1つに○】**

1. 住み続けたい
2. 余市町内で他の場所に住み替えたい
住みたい居住地域 (_____)
3. 余市町外へ住み替えたい
市町村名 (_____)

問8 問7で「2. 余市町内で他の場所に住み替えたい」「3. 余市町外へ住み替えたい」と答えた方にお聞きます。町内の他の地域や町外に住み替えたいと思う理由をお答えください。

1. 親や子供と同居したいから
2. 親類や知人の近くに移りたいから
3. 緑や自然が豊かな環境に移りたいから
4. 買い物が便利な環境に移りたいから
5. 公共交通の便が良い環境に移りたいから
6. 医療サービスが充実した環境に移りたいから
7. 子育てや教育環境が充実した地域に移りたいから
8. 福祉サービスが充実した環境に移りたいから
9. 災害リスクが少ない環境に移りたいから
10. 住宅の老朽化が著しいから
11. その他 (_____)

問9 問7で「2. 余市町内で他の場所に住み替えたい」と答えた方にお聞きします。住み替える場合、あると良い支援をお答えください。【3つまで○】

1. 住宅購入費に対する支援
2. 賃貸住宅の家賃等に対する支援
3. 転居に伴う費用に対する支援
4. 現在居住している住宅・土地の売却等に対する支援
5. 現在居住している住宅の解体費に対する支援
6. 空き家や空き地に関する情報提供
7. 住み替え先の地域に関する情報提供（子育て環境や介護・福祉施設の情報）
8. その他（ _____ ）

問10 余市町内の災害危険区域について伺います。【該当するすべてに○】

1. 自宅は津波浸水想定区域内に該当する
2. 自宅は土砂災害警戒区域内に該当する
3. 自宅は洪水浸水想定区域及び洪水氾濫危険区域内に該当する
4. 自宅は上記1～3に該当しない
5. 自宅が上記1～3に該当しているかどうかわからない

問11 災害への備えとして普段どのようなことをしていますか。

【該当するすべてに○】

1. 住んでいる場所や地区の災害の危険性を把握している
2. 災害情報を得る方法を把握している
3. 防災グッズを準備している
4. 非常食を備蓄している
5. 避難場所を把握している
6. 災害が起きた場合の対応について家族及び住民同士で話し合いをしている
7. 避難訓練へ参加している
8. 特に何もしていない
9. その他（ _____ ）

3. 余市町の今後のまちづくりについて伺います。

問1から問5までの質問について、あなたのお考えに最も近いものに○印をつけてください。設問によりお答えいただく数が異なりますのでご注意ください。

問1 土地の使い方について「満足度」と「重要度」を伺います。

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
まちなかのにぎわい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
快適な住宅地形成・保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
利便性の高い住宅地形成・保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
空き家・空き地の対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
公営住宅の整備・配置状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
農業地域の維持保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
レクリエーション施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
公的施設や民間施設等の誘致	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問2 道路や交通について「満足度」と「重要度」を伺います。

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
身近な生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
バリアフリー化など、高齢者・障がい者等に配慮した歩道整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
除雪やロードヒーティングなどの雪対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
信号やガードレールなど、安全施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
バス転換を見据えた駅前広場の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
町内バス路線の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
余市 IC 開通による幹線道路の渋滞対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 公園や緑地について「満足度」と「重要度」を伺います。

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
身近な公園・憩いの場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
花壇・花木が充実した公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
たくさんの遊具があり、子どもが遊べる公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キャンプや森林浴など自然とふれ合える公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
スポーツが楽しめる運動公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イベント利用できる大きな広場をもった公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 防災や防犯について「満足度」と「重要度」を伺います。

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
避難路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
避難所の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
河川氾濫への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
津波浸水への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
土砂災害警戒区域等への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災訓練の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災情報の発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
街灯・防犯灯の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問5 暮らしやすいまちになるために最も重要だと思うことをお答えください。

【3つまで○】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 市街地や商店街の活性化 | 2. 鉄道によって分断されたまちなみの解消 |
| 3. 公共交通機関の充実 | 4. 公園や広場、遊び場などの充実 |
| 5. 農地・農業施設の整備 | 6. 自然環境の保全・活用と産業振興の両立 |
| 7. 河川の保全 | 8. 医療・福祉の充実 |
| 9. 子育て支援の充実 | 10. 教育環境の充実 |
| 11. 防災・災害対策の充実 | 12. 観光資源の充実 |
| 13. 公共施設の老朽化対策 | 14. まちづくりを担う人材の育成・確保 |
| 15. まちづくりに関する話し合いの場 | |
| 16. その他 (_____) | |

4. 自由記述

アンケートへのご協力ありがとうございました。

2. 都市再生協議会等の記録

(1) 策定の経過

開催日	策定作業	概要
令和4年10月4日	第1回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームについて 都市計画マスタープランの変更について 立地適正化計画の策定について 町民アンケートの結果について 各課からの課題について
令和4年10月25日	第2回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 各課において所管する公共施設の今後の方向性について
令和4年11月9日	第1回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの変更・立地適正化計画の策定について 将来におけるまちづくりの検討課題の整理 将来目指すべく都市構造及びまちづくり
令和4年12月5日	第3回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 将来目指すべき都市構造及びまちづくりの基本方針 都市の現状及び将来見通しからみる課題分析 都市計画マスタープラン将来目標の設定
令和4年12月9日	第2回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市の現状及び将来見通しからみる課題分析について 都市計画マスタープラン将来目標の設定 立地適正化計画方針の設定及び誘導方針
令和5年1月13日	第4回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：将来目標の設定／全体構想および分野別方針 立地適正化計画：まちづくりの方針／都市の骨格構造／誘導方針について
令和5年1月23日	第3回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：将来目標の設定／全体構想および分野別方針 立地適正化計画：まちづくりの方針／都市の骨格構造／誘導方針について
令和5年2月14日	第4回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：全体構想 立地適正化計画：基本方針
令和5年2月21日	住民説明会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画とは 都市計画マスタープランとは 立地適正化計画とは
令和5年3月29日	第48回都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：全体構想 立地適正化計画：基本方針
令和5年7月12日	第5回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：地区別構想(案) 立地適正化計画：庁内ヒアリング結果／防災指針(案)／誘導区域(案)
令和5年7月19日	第5回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：地区別構想(案) 立地適正化計画：防災指針(案)／誘導区域(案)
令和5年9月15日	第6回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン：素案の確認 立地適正化計画：素案の確認
令和5年9月26日	第6回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画における誘導区域(案)の町民周知 前回都市再生協議会での意見及び対応 都市計画マスタープラン：素案の審議 立地適正化計画：素案の審議
令和5年12月6日	第7回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 前回都市再生協議会での意見及び対応 都市計画マスタープラン：素案の審議 立地適正化計画：素案の審議
令和6年1月10日 ～令和6年2月9日	パブリックコメント募集	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の素案に対する意見募集
令和6年1月17日	第49回都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの素案について 立地適正化計画の素案について
令和6年2月20日	第7回プロジェクト会議	<ul style="list-style-type: none"> 案の確認
令和6年3月1日	第8回都市再生協議会	<ul style="list-style-type: none"> 案の確認
令和6年3月5日	第50回都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 答申

(2) 委員名簿

■余市町都市計画審議会

役職名	氏名	任期
委員長	有田 均	令和3年8月1日～令和5年8月18日
	佐々木 艶子	令和5年9月1日～令和9年8月31日
副委員長	小田 寛	令和5年1月1日～令和8年12月31日
委員	佐々木 艶子	令和3年8月1日～令和5年8月18日
	有田 均	令和5年9月1日～令和9年8月31日
委員	望月 和幸	令和元年9月1日～令和5年8月31日
	庄木 里美	令和5年9月1日～令和9年8月31日
委員	小浜 高広	令和3年8月1日～令和5年8月18日
	澤辺 敬	令和5年9月1日～令和9年8月31日
委員	内海 博一	令和元年8月26日～令和5年8月18日
	庄 巖龍	令和5年8月29日～令和9年8月18日
委員	寺田 進	令和2年3月19日～令和5年8月18日
	山本 正行	令和5年8月29日～令和9年8月18日

■余市町都市再生協議会

機 関 ・ 役 職 名	氏 名	備 考
北海道大学 公共政策大学院 教授	岸 邦宏	会長
余市商工会議所 副会頭	小田 寛	副会長
北海道中央バス株式会社 余市営業所 所長	内海 幸夫	
小樽つばめ交通株式会社 余市支店 支店長	横浜 博	
一般社団法人 余市医師会 会長	小嶋 研一	
一般社団法人 余市観光協会 副会長	彫谷 泰嗣	
余市町区会連合会 副連合会長	平田 進	令和4年度
余市町区会連合会 常任委員		令和5年度
余市町PTA連合会 会長	北島 正樹	
国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部 地域振興対策室長	森田 尚洋	令和4年度
	登立 敏和	令和5年度
北海道後志総合振興局 地域政策課長	高木 弘章	令和4年度
	菊地 博幸	令和5年度
北海道後志総合振興局 新幹線推進室長	新開 孝一	
北海道後志総合振興局 小樽建設管理部 地域調整課長	棕平 剛史	令和4年度
	大久保 圭介	令和5年度
余市消防署 署長	舟倉 勝巳	
余市警察署 地域課長	佐々木 隆行	
一般公募	川村 憲吾	
一般公募	千葉 一仁	

■余市町都市計画マスタープラン変更・立地適正化計画策定プロジェクトチーム

職 名	氏 名	備 考
建設水道部長	千葉 雅樹	リーダー
まちづくり計画課長	庄木 淳一	副リーダー、令和4年度
	北島 貴光	副リーダー、令和5年度
まちづくり計画課 主幹	芹川 貴弘	事務局、～令和4年9月30日
	本間 憲明	事務局、令和4年10月1日～
まちづくり計画課 主幹	松尾 智幸	事務局
まちづくり計画課 主任技師	二木 二郎	事務局
まちづくり計画課 まちづくり推進係 主事	大隅 奎哉	事務局
総務課 主幹	荒井 拓之介	
地域協働推進課 主幹	岡 欣司	令和4年度
総務課 主幹		令和5年度
企画政策課 主幹	原田 孝嗣	令和4年度
政策推進課 主幹	金田 直也	令和5年度
企画政策課 企画政策係長	半田 和気	令和4年度
政策推進課 政策推進係長		令和5年度
財政課 財政係長	阿部 航大	
税務課 資産税係長	工藤 貴弘	令和4年度
	石岡 孝弘	令和5年度
福祉課 福祉センター館長	北村 友紀	
子育て・健康推進課 主幹	鈴木 貴之	令和4年度
	清水 光弘	令和5年度
保険課長	橋端 良平	令和4年度
保険課 主幹	西本 さつき	令和5年度
環境対策課 主任技師	桂 芳之	
農林水産課 主幹	小林 武	
商工観光課 主幹	高田 匡介	～令和5年5月31日
	鈴木 貴之	令和5年度
商工観光課 主任	蝦名 咲	令和5年6月1日～
建設課 主任技師	井上 健男	
下水道課 建設係長	荻野 幸介	
水道課 計画係長	永井 嘉一	
農業委員会 事務局次長	森谷 満	～令和5年9月30日
	中村 利美	令和5年10月1日～
学校教育課 主幹	本間 憲明	～令和4年9月30日
	住吉 孝之	令和4年10月1日～令和5年3月31日
	奥寺 淳	令和5年4月1日～令和5年9月30日
学校教育課 学校教育係長	佐藤 隆広	令和5年10月1日～
社会教育課 主幹	秋元 秀樹	令和4年度
	中村 利美	令和5年4月1日～令和5年9月30日
	奥寺 淳	令和5年10月1日～

余市町 建設水道部 まちづくり計画課

令和6年3月発行

TEL : 0135-21-2124

URL : <https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>



余市町 立地適正化計画

発行日：令和6年3月

編集・発行：余市町 建設水道部 まちづくり計画課

余市郡余市町朝日町 26 番地

TEL 0135-21-2124

HP <https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>